長崎市幼保小連携ガイドブック

やってみゅ～で

長崎市教育委員会

はじめに

人間形成の基礎を培う乳幼児期は、生きる力の土台を育む重要な時期です。その土台の上に、児童期では、生きる力を身につけていきます。保育所・幼稚園・小学校と段階が分かれていても、子ども自身はつながりをもって成長し続けています。発達や学びの連続性・一貫性を保障し、子どもにかかわるすべての大人が、互いに理解し連携することは、長崎市のすべての子どもが、健やかに成長することにつながります。

長崎市では平成23年に第四次総合計画を策定し、5年後に目指す姿を、長崎市のすべての子どもたちが「将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している」と設定し、保育所・幼稚園から小学校、小学校から中学校へのスムーズな移行を図るため、交流や連携、研究の推進に努めております。

長崎市では、これまでも近隣の保育所・幼稚園・小学校が連携を図ってきた地域もありますが、長崎市のすべての子どもたちが、これまで以上に、安心して落ち着いた小学校生活のスタートをするために、また、保育者・教職員が、互いの保育・教育を理解し、それぞれの保育・教育の質を向上させるためにも、さらなる連携と接続への努力が必要です。

そこで、長崎市教育委員会では、平成24年5月より長崎市幼保小連携検討懇話会において、保育所・幼稚園・小学校の先生方の相互理解を深め、幼保小連携への意識を高めるための一助となるよう、本ガイドブックの検討と、地域のよさを生かしながら、各地域の状況に合わせて連携できるような組織の検討を行ってまいりました。今後は、これを礎にして、幼保小連携についての具体的取組がなされ、長崎市の将来を担う子どもたち一人一人を育む保育・教育活動がさらに充実することを期待しております。

最後になりましたが、それぞれのお立場より、熱い議論を重ねていただきました懇話会委員の皆様、作業部員の皆様に、心より感謝申し上げ、発刊の言葉といたします。

平成25年4月

長崎市教育長

馬 場　豊 子

目　次

はじめに

第１章　長崎市幼保小連携ガイドブック　「やってみゅ～で」の作成にあたって　1

１　長崎市幼保小連携ガイドブック「やってみゅ～で」とは　1
２　それぞれの地区の特色を生かそう　2

第２章　育ちと学びの連続性　4

１　つながる　子どもの育ちと学び　4
２　接続期に大切にしたい「経験・体験」　6

第３章　互いの保育・教育を理解する　8

１　保育所保育指針、幼稚園教育要領と、学習指導要領を比べてみよう　8
２　保育所、幼稚園で行われていることと小学校で行われていることを比べてみよう　11
３　保育者と小学校教職員の声を聞いてみよう　30
４　子どもの声を聞いてみよう　32
５　保護者の声を聞いてみよう　36

第４章　どのように連携するか　38

１　「ホップ」　お互いを知ろう　39
２　「ステップ」　交流しよう　42
３　「ジャンプ」　続けよう　46

資　料　50
１　地域ブロック一覧表　50
２　アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの編成　52
３　ワークシート　55

おわりに

第1章
長崎市幼保小連携ガイドブック「やってみゅ～で」の作成にあたって

1　長崎市幼保小連携ガイドブック「やってみゅ～で」とは

長崎市幼保小連携ガイドブック「やってみゅ～で」は、保育所、幼稚園など幼児期の教育に携わる先生方と、小学校で児童期の教育に携わる先生方へ向けた、幼保小連携のためのガイドブックです。

保育所、幼稚園、小学校においてはこれまでも、子どもの発達段階に応じ、それぞれに工夫して保育・教育が行われてきました。しかし、幼児期と児童期とでは、保育・教育課程や指導方法など様々な違いがあるために、互いに理解が深まらない部分があったり、具体的な接続への取組に必ずしも積極的でなかったという現状があったようです。

しかし、中心に置かれるべき子ども自身は、連続性をもって成長し続けています。我々大人は、保育所、幼稚園、小学校と段階に分けて保育・教育をしていますが、子ども自身は連続性をもってつながっていることを、子どもの立場に立ってあらためて考えたとき、保育所と幼稚園と小学校が互いに連絡を取り合い、手を携え、互いに理解を深め連携していくことは、とても重要で不可欠なことであります。

このガイドブックは、保育所、幼稚園、小学校の各先生方が、幼保小連携に対する意識を高め、さらにもう一歩連携を深めていただくための契機となることを目的に作成したものです。

これから幼保小連携をしていこうとしている先生方にとっては、初めの一歩を勇気をもって踏み出せるように、またこれまで取組を行ってきた先生方にとっては、さらにもう一歩連携を深められるように、そのきっかけや参考となれば幸いです。

そのために、第１章では、長崎市の幼保小連携の組織について示しました。第２章では「育ちと学びの連続性」について触れ、一貫性・共通性を中心に、第３章では、「互いの保育・教育を理解する」と題し、保育所、幼稚園、小学校を比較することによりその特性を中心に述べました。さらに第４章では、「どのように連携するか」を３段階のステップで表しました。

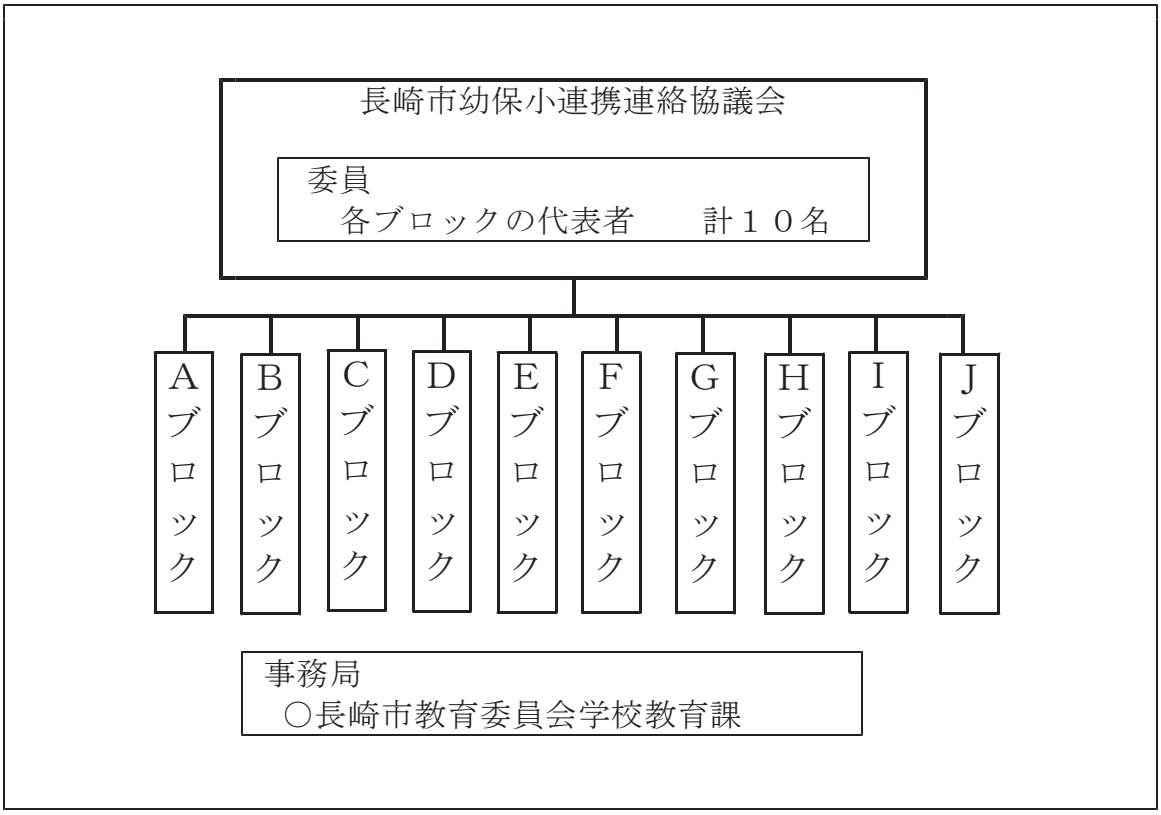
保育所、幼稚園、小学校の先生方が同じテーブルを囲み、傍らにこのガイドブックを置いていただき、書かれている内容を話題の種にしながら、それぞれの保育所、幼稚園、学校の実態に即した連携の種を育んでいただけることを期待しています。

２　それぞれの地区の特色を生かそう

長崎市では、幼児教育から小学校教育への円滑な移行に関する事項について協議をする長崎市幼保小連携連絡協議会が設置されています。この長崎市幼保小連携連絡協議会は、保育所・幼稚園・小学校の代表者で組織され、地域ごとに、１０の地域ブロックを設置しています。地域ブロック[1)]は、地域のよさを生かしながら、各地域の状況に合わせて、自主的な運営ができるよう、組織しています。

・施設長会の実施
・担当者会の実施
・保育や授業の参観や体験の計画的な実施
・実践発表やカリキュラム作成
・合同研修会の実施

など、情報を共有する場、学びの場等、各地域の創意工夫が生かされる場として今後の取組が期待されます。



1）地域ブロック一覧表は巻末P. 50に掲載。

長崎市内には、国公立・私立を含め、小学校が７６校あります。

幼稚園は、国公立・私立を合わせて５１園、保育所は公私立合わせて１０２か所（うち、２か所は３歳未満児対象園）あります。

なお、幼稚園、保育所のうち、認定こども園は６か所（幼稚園型２か所、幼保連携型４か所）です。

（平成２４年１０月現在）

第2章
育ちと学びの連続性

1　つながる　子どもの育ちと学び

子どもの育ちと学びを樹木の生長に例えて考えてみましょう。美しい花を咲かせ、風雨にあたっても折れない大木は、地中深くに太い根をはわせています。乳幼児期は、例えるならばこの大木の「根っこ」にあたり、生きる力の基礎を培う重要な時期にあたります。乳幼児期には、急いで発達をうながすことや、目先の結果となるような花を早く咲かせることに力を入れるのではなく、見えない根っこをはらせ、後伸びする力を培うことが大切です。

やがて大木は葉を茂らせ、花を咲かせます。花は「生きる力をもち次代を生き抜く子ども」にあたります。もちろん、学童期・思春期を過ぎても人は成長し続けます。

子どもにかかわる全ての大人は、こうした子どもの全体の姿を思い描きながらかかわることが必要です。花だけを見たり、根だけに関心を寄せたりするのではなく、これまでどのように育ってきたのか、これからどのように育っていくのか見通しをもってかかわることが大切です。

葉や花は地表にあるのでよく見えますが、根っこは土を掘ってみないと見えません。しかし、一本の木としてつながりをもって生長し続けています。目に見える葉や花、見えにくい根、違いはあれど、子どもの育ちの中でつなげるべきものを、ここでは「情緒の安定」と「自己の発揮」と捉えています。

情緒の安定

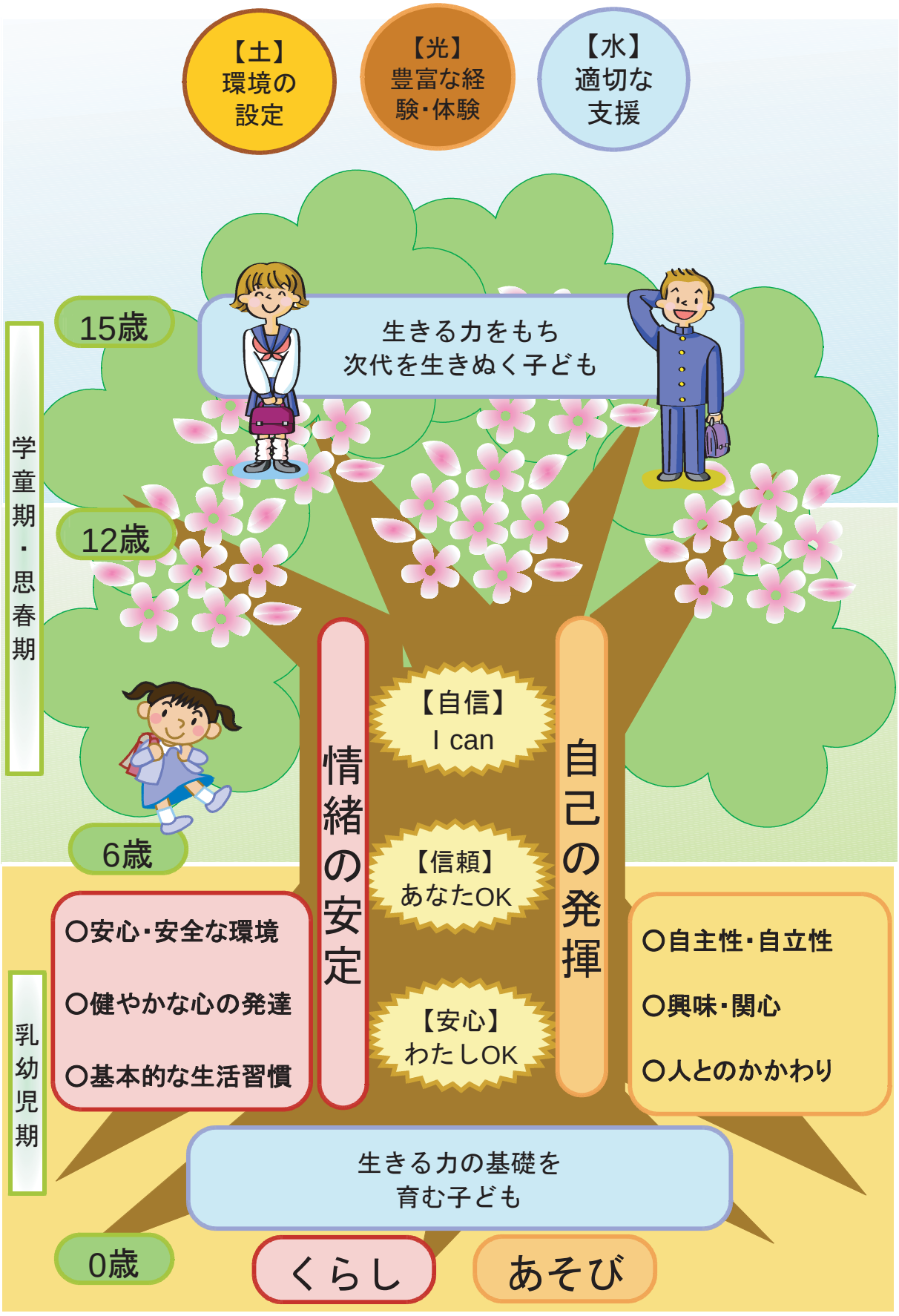
子どもは自分が大切にされることを通して、自分が大切な存在であることを知り【安心（わたしＯＫ）】、他者を大切にしていくことを学び【信頼（あなたＯＫ）】、自分が必要な存在で役に立つことで自信を育んでいきます【自信（I can）】。

幼児期に培われた情緒の安定は、その後も育まれ、一生を支える自己肯定感・自己有用感につながります。

自己の発揮

乳幼児期の子どもは、「くらしとあそび」の中で成長します。ワクワクしたり、どうしてかなと不思議に思うことなど、自分の中からわき上がる感情は、外から教え込まれたものと違って、その後の学びを支える大切な基盤となります。そうした感情を大切にしながら、児童期・思春期でも自分らしさを発揮していきます。

つながる　子どもの育ちと学び



２　接続期に大切にしたい「経験・体験」

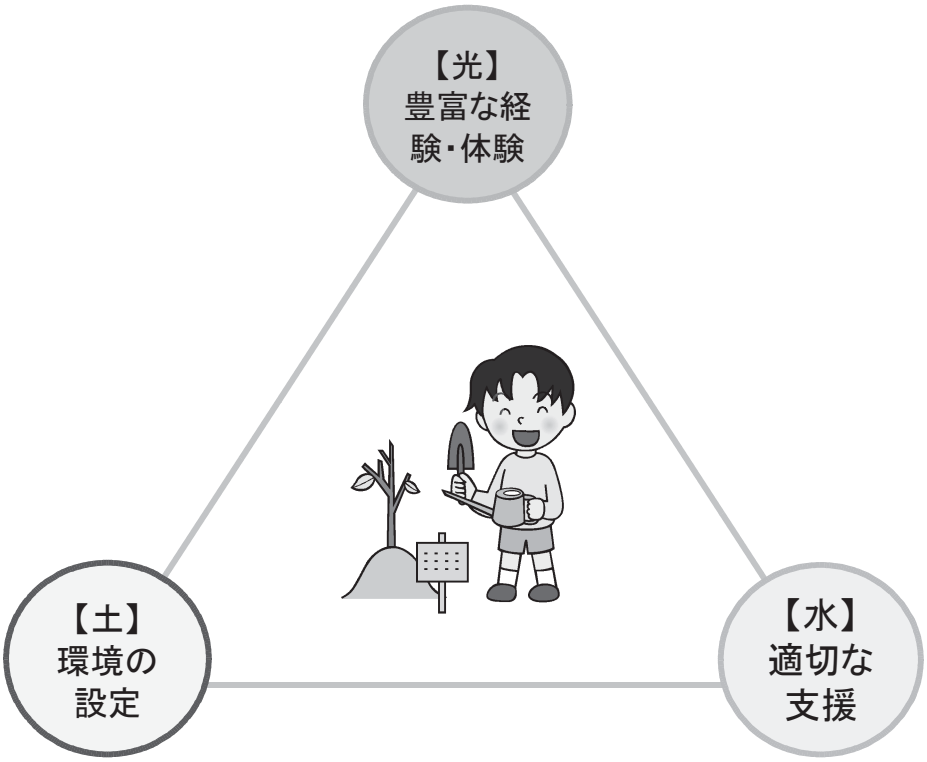
接続期

接続期というのは、幼児期と児童期の接続を意識する期間のことで、ここでは幼児期の年長、５歳児クラスの１０月から、小学校１年生の１学期を「接続期」と捉えています。子どもの実態等を踏まえ実践を工夫してみましょう。

子ども一人一人の育ちや学びは、幼児期と児童期で、境界がはっきりと分かれるものではありません。また、乳幼児期をどのように過ごしてきたかという経験や、環境、個人差も大きく、一様にとらえることもできません。

幼児期にかかわる保育者は、児童期においてどのように育ちや学びが広がり深まるのかを十分理解して、また、小学校の教職員は幼児期において、子どもがどのように育ってきたのか一人一人の状況を十分に理解して、子どもにかかわることが大切です。接続期を単なる小学校への準備期間や馴れの期間として捉えるのではなく、つながりを意識することが大切です。

右の表は、接続期に大切にしたい「経験・体験」を各項目ごとにまとめたものです。これを参考にしながら、各保育所・幼稚園・学校で、具体的な経験や体験の内容を考えたり、どのような環境を設定したらよいのか、どのような支援が必要か、考えてみましょう。



		接続期に大切にしたい経験・体験
情緒の安定	安心・安全な環境	○　保護者や保育士・教職員など、信頼を寄せる大人に受け入れられ、認められる。 ○　家庭や保育所・幼稚園・学校などで安心して居られる。 ○　自分の居場所があり、受け入れられる仲間がいる。
	健やかな心の発達	○　感覚的・身体的活動をたっぷりと味わう。 ○　豊かな感情体験をする。 ○　豊かな感情を感じつつ、自分の気持ちに折り合いをつけて、ほどよく収める。 ○　根気よく持続し、自分を励まし取り組む。
	基本的な生活習慣	○　早寝・早起き・朝ご飯の習慣。 ○　着脱、食事、排泄、洗面、歯磨きなどを自分ですることができる。 ○　返事や挨拶を快く感じる経験、進んで行う体験。 ○　物を大事に使ったり、片付けたりする。
自己の発揮	自主性自立性	○　自分の力で、目標に向けて取組み、達成感・満足感をもつ体験。 ○　自分のことは自分で行い、自分でできないことは助けを借りて自分で行う。 ○　生活の流れや周りの状況を予測して生活する体験。
	興味・関心	○　楽しい活動に夢中になり、没頭する体験。 ○　楽しさやあこがれから、やってみたいことのイメージ、達成のイメージをもち、今の活動を工夫しながら目指す。 ○　身の回りの人・もの・ことに対して、遊びを通して感覚的に知る。 ○　時間が来たら、気持ちを切り替え集中する。 ○　課題を自分に引き寄せ取り組む。 ○　目当てをもって追求し、その実現に手応えと喜びを感じる。 ○　いろいろな思いを言葉にして考え、発言する。 ○　自分が学んでいることを自覚して、計画的に学習活動を行う。
	人とのかかわり	○　感じたことや気づいたことを言葉にして伝え合う。 ○　クラスみんなで、共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向かう。 ○　身近ないろいろな人とかかわり、思いや考えを感じながら自分の思いの出し方を考える。 ○　家族や友達など関係の深い人の中で、自分が役に立つ喜びを感じる。

第3章
互いの保育･教育を理解する

1　保育所保育指針、幼稚園教育要領と、学習指導要領を比べてみよう

この章では、互いの保育・教育を理解するために、それぞれの特性を明らかにします。

保育所、幼稚園、小学校での保育・教育は、言うまでもなく、保育所保育指針、幼稚園教育要領、学習指導要領に基づき行われています。それぞれの違いや共通点の根拠をたどる上でも、保育所保育指針、幼稚園教育要領、学習指導要領を改めて紐解き、比較してみることは大変意義のあることです。

そこで、この章ではまずはじめに、保育所保育指針、幼稚園教育要領と学習指導要領を比較してみることにします。みなさんも手元に保育所保育指針、幼稚園教育要領、学習指導要領を置いて、比べながら読んでみてください。

教育基本法に示されているとおり、教育の目的は共通性があり、「人格の完成」を目指して行われます。

ただ、幼児期と児童期では、子どもの発達の段階に特性がありますので、教育課程の構成原理や指導方法などに違いがあるのは当然のことです。次のページは、指針や要領のそれぞれの特徴的な言葉や記載の特徴を比較したものです。では、何がどのように違うのか、比較してみましょう。

保育所保育指針、幼稚園教育要領の特徴的な言葉や記載の特徴

	保育所保育指針	幼稚園教育要領
	特徴的な言葉や記載の特徴	
保育・教育課程の構成原理	養護 「生命の保持」 「情緒の安定」 教育 「健康」「人間関係」 「環境」「言葉」「表現」	領域 「健康」「人間関係」 「環境」「言葉」「表現」
	目標の表記 「～を味わう」 「～を感じる」など	
内容	「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」に関する内容 （保育所保育指針では養護に関する「生命の保持」「情緒の安定」も含む）	
指導方法	「環境を整える」 「環境を構成する」 「生活や遊びを通して総合的に保育する」	「環境を通して行う」 「計画的に環境を構成」 「自発的な活動としての遊び」 「遊びの中で」
時間設定		「39週を下ってはならない。」 「１日の教育課程に係る教育時間は、4時間を標準」

キーワード「領域」

各教科等の区別がない。
幼児の生活や経験を重視する「経験カリキュラム」に基づき展開される。

キーワード
「その後の教育の方向付け」

幼児期の教育の終了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度などについて、「～を味わう」「～を感じる」などのように、その後の教育の方向付けを重視する。

キーワード「環境」

幼児期の教育は、環境を通して行うこと、つまり幼児を取り巻く人的・物的要素全てを通して幼児を導くことで、幼児の生活や経験からの学び、自発的な活動を重視している。

キーワード「遊び」

幼児期における「遊び」は学びそのものであり、幼児が遊び込むことができる環境、つまり学びに深さと広がりをもたらす環境をいかに構築するかが保育者の指導における重要な課題となる。

小学校学習指導要領の特徴的な言葉や記載の特徴

	小学校学習指導要領
	特徴的な言葉や記載の特徴
教育課程の構成原理	各教科（国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育）、道徳、外国語活動、総合的な学習、特別活動
	目標の表記 「～ができるようにする」など
内容	各教科等ごと、学年ごと、領域や内容の区分ごとに細かく明記 （例）算数　第1学年 A　数と計算 （1）ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。 ア　ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べること。
指導方法	「適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。」 「・・・適切な指導を行わなければならない。」 「・・・学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」 「・・・内容の範囲や程度等を示す事項は、すべての児童に対して指導するものとする・・・」
時間設定	「年間35週（第1学年は34週）以上」 「時間割」

キーワード「各教科等」
各教科、道徳、特別活動などの区別がはっきりしている。
学問体系の獲得を重視する「教科カリキュラム」を中心に展開される。

キーワード「目標への到達」
「～ができるようにする」といった具体的な目標への到達を重視する。

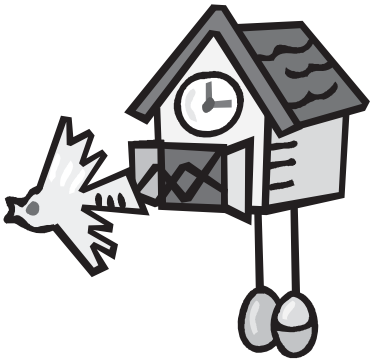
キーワード「目標・内容」
児童が目標に到達することができるようにするために、教員は、教育すべき内容を具体化し効果的な指導を行うことが、重要な課題となる。

２　保育所、幼稚園で行われていることと小学校で行われていることを比べてみよう

保育所、幼稚園の子どもの１日と小学校の子どもの１日を比べてみよう

まずはじめに、保育所、幼稚園の子どもの１日と小学校の子どもの１日の流れを比較してみます。保育所、幼稚園、小学校では当然のことながら、生活のリズムが異なります。あらためて比較してみると、１日の時間の流れ方に大きな違いがあることに、気づかれることでしょう。

小学校に入学する子どもの立場になって考えたとき、生活のリズムの違いをどのようにつなげるかを考えるヒントになるのではないかと思います。



保育所の１日の流れ　（長崎市内のある保育所の例）

時　間	0歳児	1･2歳児	3･4･5歳児
７：００	順次登所、視診 遊び		
７：３０			
			遊び
９：００	検温 おやつ 遊び	おやつ うがい 遊び	
１０：００	午前睡 遊び		年齢別保育
１１：００	離乳食 授乳	食事	
１２：００	午睡		食事、歯磨き 着替え
１３：００		午睡	午睡
１４：００	めざめ、検温 おやつ、授乳	めざめ 排泄 おやつ うがい	めざめ 排泄 おやつ うがい
１５：００	検温		
１６：００	視診 順次降所	視診 順次降所	
１７：００	室内で遊びながらお迎えを待つ	室内や園庭で遊びながらお迎えを待つ	
１８：００			
１９：００			

保育時間は一人一人違います。登所した子どもから、朝の支度をし、好きな遊びを始めます。

年齢に応じて、食事やおやつの準備を当番活動として行っています。

5歳児で午睡をしなくなる保育所もあります。

SIDS[1]の予防を兼ね５分おきに睡眠チェックをします。

これは、あくまでも一例です。保育所によって、開所・閉所の時間が違ったり、活動内容が違ったり、それぞれの保育所によって特色があります。

1）SIDS・・・乳幼児突然死症候群

登所の様子

朝の受け入れ時間は、とても大切！丁寧に視診を行い、連絡事項を聞き取り、子どもの気持ちを受け止めます。

遊びと生活

《クッキング》
様々な体験に挑戦！

《ごっこ遊び》
同年齢の友達とのかかわり。

《ころがっしドッジボール》
異年齢の友達とのかかわり。

食事

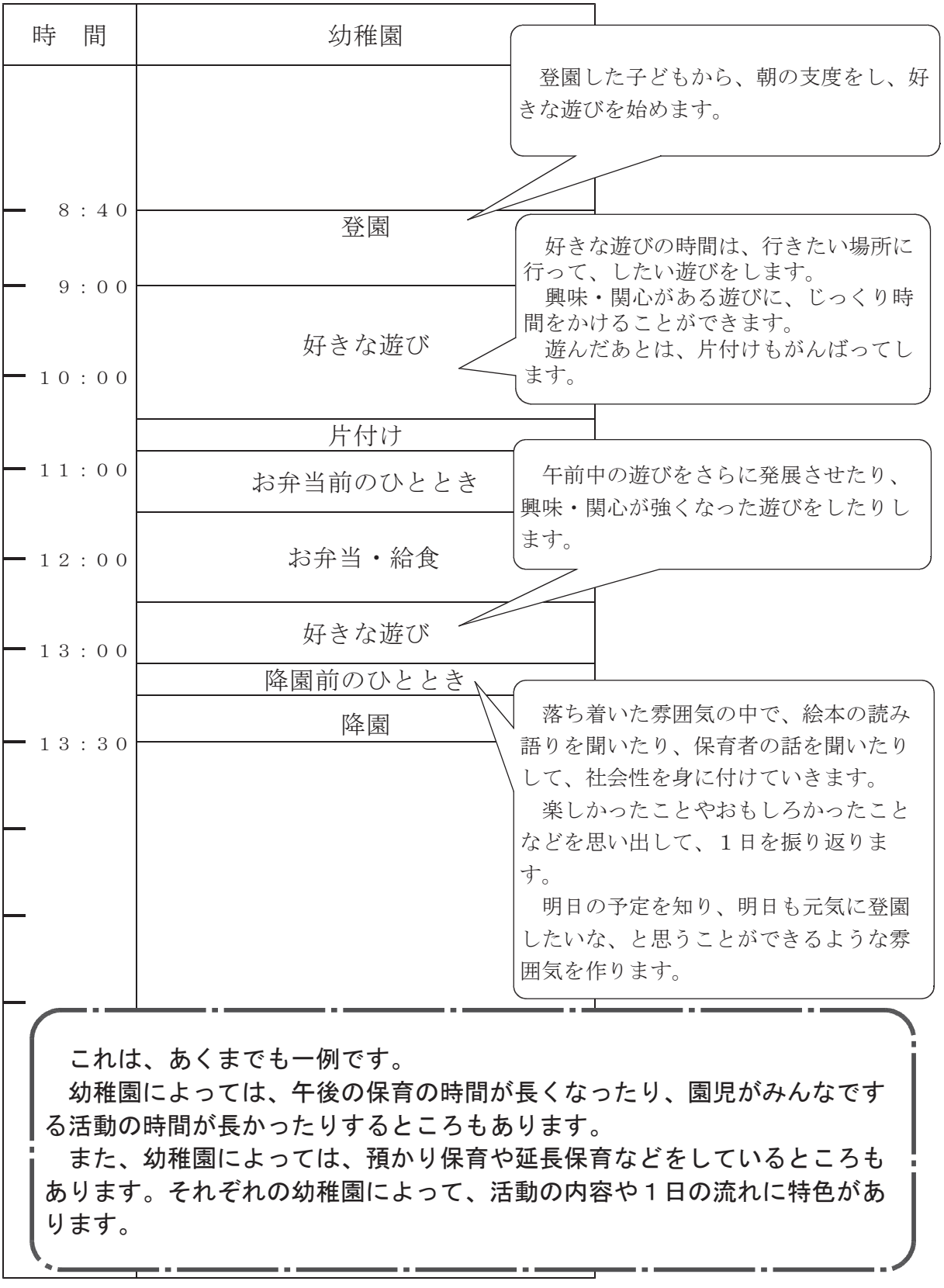
５歳児には、食事はおおむね３０分で食べ終わるようにしているところもあります。

医師の指示に基づいた、アレルギー対応食の提供。

降所の様子

保護者一人一人と必ず顔を合わせ、その日の様子を伝えます。

幼稚園の１日の流れ　（長崎市内のある幼稚園の例）



これは、あくまでも一例です。
幼稚園によっては、午後の保育の時間が長くなったり、園児がみんなでする活動の時間が長かったりするところもあります。
また、幼稚園によっては、預かり保育や延長保育などをしているところもあります。それぞれの幼稚園によって、活動の内容や１日の流れに特色があります。

登園の様子

園によって通園方法は様々です。保護者と一緒に来たり、通園バスに乗ったりして登園します。

遊びの様子

行事に向けての話し合いや、準備・練習など、一斉活動の時間を設定することもあります。

砂場や遊具、製作、音楽などのコーナーで好きな遊びをします。子どもの興味・関心、遊びの流れ、季節などに応じて材料やコーナーを準備します。

お弁当・給食時間

楽しい雰囲気の中で、食事のマナーを身につけ、好き嫌いなく食べることができるよう、援助をしています。

当番

掃除や水やりなど、当番活動も行います。

降園の様子

お迎えに来た保護者と帰ったり、送迎バスに乗って帰ったりします。

保護者の方に、その日の保育の様子や、次の日の連絡をしている園もあります。

小学校の1日の流れ （ある小学校1年生の例）

時　間	小学校
８：００	
8:15	10分間読書・朝の会
９：００	１時間目
１０：００	２時間目
	中休み
１１：００	３時間目
１２：００	４時間目
	給食
１３：００	昼休み
	そうじ（曜日によっては集会活動など）
１４：００	５時間目
１５：００	帰りの会（その後、一斉下校）
１６：００	※　１年生は、月から金まで５時間授業が原則です。午前中に５時間実施している学校もあります。 ※　学年が上がるにつれて、６時間目も学習する日が増えてきます。

市立の小学校は８：１５から一斉に始まります。それまでに、学習用具の片付けなどを済ませておきます。

１コマの授業時間は４５分です。
授業の間には、５分または１０分の休みがあり、トイレや次の授業の準備や移動をします。

【１年生の週当たり
授業時数のめやす】
国　　語…９時間
算　　数…４時間
生 活 科…３時間
音　　楽…２時間
図画工作…２時間
体　　育…３時間
道　　徳…１時間
特別活動…１時間

手洗い、着替え、運搬、配膳、食事、片付け、歯磨きを４５～５０分で行います。食事の時間は２０分くらいです。

休み時間は運動場などで、友だちと思い思いに遊びます。

これはあくまでも一例です。
小学校では、時間割によってはっきり学習や生活の時間が分けられています。
授業は、年間指導計画に沿って進められます。
集団で学習や活動に取り組むことがたくさんあります。給食、清掃、係活動など必要に応じて教師の支援を受けながら、自分たちで取り組みます。

登校の様子

多くの学校で、保護者の方や地域の方が交通安全指導をしてくださっています。

授業の一コマ

休み時間

給食時間

〈ある日の給食〉
- 主食は、米飯の日とパンの日があります。
- 牛乳は、毎日あります。
- 医師の指示に基づき、アレルギー対応食を提供しています。

掃除の時間

ほうきやぞうきんなどを使って、一斉に教室や廊下等のそうじをします。

下校の様子

保育の計画と授業の計画を比べてみよう

次に、保育所の保育の計画、幼稚園の保育の計画、そして小学校の授業の計画を比較してみます。それぞれの計画を比較してみると、保育所や幼稚園、小学校ではどのような活動が行われているのかが、イメージできるのではないかと思います。

また、似たような活動をしていてもねらいが異なったり、保育・教育課程の構成の違いが見えてきたりします。

ここに掲載しているのは、あくまでも一例ですが、かかわりのある保育所、幼稚園、小学校同士でこうした計画を持ち寄ってみると、子どもが保育所や幼稚園でどのような経験をしてきたかを知ったり、反対に子どもが小学校でこれから経験することを見通したりする上で、参考になるのではないかと思います。

保育所の保育の計画について

５歳児の年間計画を掲載しています。保育課程の構成の特徴などを読み取ってみましょう。

小学校は学期による区分がされますが、保育所は区分の仕方が異なることが分かりました。小学校よりも、保育所の方が、「月齢」の意識が強いのかもしれません。
「養護」と5領域の「教育」から保育の計画が構成されている具体的な計画を見て、保育の様子についてイメージすることができました。実際の保育を見てみたくなりました。

幼稚園の保育の計画について

５歳児の11月の月案を掲載しています。接続期にあたる11月、幼稚園ではどのような保育が行われているか、保育ではどのようなことを大切にしているのかなどを読み取ってみましょう。

保育では、様々な遊びが、様々な場所で計画されていることが分かりました。また、遊びの計画は、固定化されたものではなく、子どもの興味・関心に応じて、流動的に変化しながら展開されるのだろうなと思いました。

小学校の授業の計画について

１年生の年間計画を掲載しています。教科や領域の単元名・題材名を記入した一覧表となっています。教育課程の構成の特徴などを読み取ってみましょう。

小学校では、国語・算数・生活・道徳…など教科や領域ごとに、様々な学習をしていることが分かりました。しかも、月ごとにびっしりと計画がされているのだなと思いました。それぞれの単元ごとに、さらに詳しい計画があると聞いてびっくしりました。

保育所の保育の計画　（長崎市内のある保育所の例）

５歳児年間計画

保育目標		○保健的で安全な環境をつくり、一人ひとりの思いを受け止めながら生命の保持、情緒の安定を図る。 ○健康安全に必要な基本的な生活習慣について知り身につける。 ○身近な自然や社会などの環境に関わり、豊かな心情や知的好奇心、探究心を高める。 ○友だちや身近な人との関わりの中でいろいろなやりとりや集団活動を体験する。 ○生活の中で必要な言葉を身につけ、自分の思いを表現するとともに伝わる喜びや伝え合う喜びや楽しさを味合う。	
年間区分		1期（4月～5月）	2期（6月～8月）
ねらい		○年長組になったことを喜び、自覚をもちながら保育所生活を楽しむ。 ○生活の手順がわかり、自分からすすんでしようとする。 ○異年齢児と親しみを持ってあそぶ。	○　夏ならではの遊びを楽しみ、工夫したり試したりする。 ○　身近な自然や動植物と触れ合う。 ○　友だちとのつながりを深め互いの思いを伝え合いながら遊びをすすめる。
養護	生命 情緒	○保健的で安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。 ○一人ひとりの家庭環境も含めて子どもの気持ちを受け止め安心して過せるようにする。	○梅雨期や夏季の衛生管理に留意するとともに室内外の温度、湿度、採光に配慮する。 ○保育士との信頼関係のもとで、自分の思いを安心して出せるようにする。
教育	健康	○年長児としての生活の仕方や習慣を身につける。 ○戸外で、身体を十分に動かして遊ぶ。	○水遊びやプール遊びをダイナミックに楽しむ。
	人間関係	○年長組になったことを喜び、異年齢児にやさしく接[illegible]しみを持って遊ぶ。 ○生[illegible]びに[illegible]ろうと	○集団あそびの楽しさがわかり、きまりを作ったり守ったりして遊ぶ。
	環境	○春の自然に[illegible]を持ったりする	[illegible]自然現象に興味、関心を持つ。 [illegible]触れ、観察したり世話をして親し [illegible]で時刻、時間に関心を持つ。 [illegible]を通して、その特徴や性質に関心 [illegible]感動したりする。
	言葉	○絵本や童話、[illegible]想像して楽しむ ○人の話をよく[illegible]ことを話す。	[illegible]えたことを相手にわかるように話 [illegible]気づく。
	表現	○友だちと一緒に音楽を聴いたり、歌を歌ったり、楽器あそびをする。 ○身近な素材を使い、自由に描いたり作ったりすることを楽しむ。	○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○様々な素材を使って自分なりにイメージしたものを作ったり、描いたりする。 ○音色やリズムの違いを知り、一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。
食　育		○友だちと楽しく食事する。 ○健康に関心をもち食事の大切さをしる。	○身体と食べ物の関係に興味をもち食事する。 ○夏野菜の成長に関心をもち収穫やクッキングを楽しむ。
健康・安全		○安全に気をつけて遊具や用具を正しく使う○健康な生活習慣やリズムを身につける。	○汗の始末や衣服の調節、水分補給、休息をとるなど、夏の生活のし方を身につける。 ○水の危険性を理解し、安全に気をつける。
配慮事項		○一人ひとりの生活の仕方を見守り年長組になった喜びを受けとめ自己発揮できるように暖かく見守る。	○個[illegible] たこ
保護者支援		○家庭での様子を聞いたり園での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築いていくようにする。	○ク ども ら相
行　事		歯科検診　内科検診　クラス懇談会　こどもの日の集い 交通安全指導　帆船祭り たまねぎパーティ	科学館見学　七夕　夏祭り　プール開き　小ヶ倉水園 夏野菜のバーベキュー　プール納め　交通安全指導
※毎月誕生会　避難訓練			

「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりです。
「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助で、５領域から構成されます。

年間計画の実施については、子どもの実態、気候などで、変更することもあります。

この年間指導計画は、４期に分かれています。年間区分や行事などは保育所によって違います。

これは、あくまでも一例です。ここには年間計画を掲載していますが、月案、週案など様々な形式があります。保育所によってそれぞれ特色がありますので、保育内容や時期など計画は異なります。

3期（9月～12月）	4期（１月～３月）
○運動遊びや集団遊びを通して、からだを動かすことを楽しむ。 ○友だちと共通の目的をもって取り組む中で役割やルールをきめ、工夫しながら遊びをすすめていく。 ○身近な自然と触れ合う中で収穫を喜び、数、量、形などに関心を深める。	○就学への期待をふくらませ、自信や自覚をもって生活する。 ○友だちと力を合わせて最後までやりとげる。 ○表現力が豊かになり、感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
○気温の変化に応じて温度調節や換気に留意し、安全で快適に過ごせるようにする。 ○子どもの意欲を認め、一人ひとりが自信を持って楽しく生活できるようにする。	○温度、湿度、保温、清潔などに注意し、感染症の予防に努める。 ○一人ひとりの成長を認め、満足感や達成感を味わえるようにする。
○自分たちで生活の場を整えながら、見通しを持って行動する。 ○様々な運動遊びに取り組み、からだを動かして遊ぶ満足感を味わう。	○生活に見通しをもって行動する。 ○ルールのある集団遊びや様々な運動遊びに取り組み、寒さに負けずからだを動かす。
○運動会に向け、目標を持ち友だちと協力してやりとげる。 ○身近な出来事に興味を持ち、生活に関係の深い地域の人々に関心を持つ。	○友だちとの関わりの中で、良いことや悪いことなどを考えながら行動する。 ○小学校との交流を通して就学への期待感を持つ。 ○家族や保育所、地域の温かい人間関係の中で生活していることを実感する。
○いろいろな行事に積極的に参加し、がんばった自分に自 ○自然 る。	○冬の自然現象、社会事象に関心を持ち遊びに取りれたり、春の訪れに気づいたりする。
○生活 いたり ○日常 持つ。 ○経験 に言葉で表現する。	生活や遊びの中で文字や標識などに興味や関心をち、遊びに取り入れたり、描いたり読んだりす 考えたことや感じたことを相手にわかるように話。また、相手の話す内容を理解し、注意して聞く。
○音楽に親しみ歌ったり、踊ったり、楽器遊びを楽しむ。 ○遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりする。	○感じたこと、想像したことを言葉やからだ、音楽、造形などで表現する。
○収穫の喜びを知り、感謝の気持ち知る。○食習慣のマナーを身に着けようとする。	○色々なものを食べて大きく成長したことを喜び感謝する。 ○小学校との給食交流を通して１年生になることを楽しみにする。
○健康に関心を持ち、病気の予防に必要なことをすすんでする。 ○危険な場所、危険な遊び方がわかり、安全に気をつけて行動する。	○健康な生活に必要な習慣やリズムを身につける。 ○毎月の避難訓練等を通し、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつける。
○一人ひとりのよさを認め合い、子ども同士のつながりが深まるようにする。	○心とからだが成長したことを子ども達に伝え、自信を持って小学校入学を迎えられるよう送り出す。
○行事を通して、子どもたちがたくましく成長している姿を家庭とともに喜び合う。	○学校生活に必要な情報を提供し、保護者の不安を取り除き、安心して就学できるようにしていく。 ○これまでの成長をふりかえり、共に喜び合う。
保育参加　敬老会　運動会　親子遠足　内科検診　歯科検診　交通公園　生活発表会　クリスマス会	もちつき　交通安全指導　節分　育児講座　ひな祭り　お別れ会　お別れ遠足　進学祝式

保育所生活最後の１年は、年長児として行事や日々の活動に主体的に取り組めるよう、カリキュラムを工夫します。特に１月頃から、進学を意識した活動が増えます。

幼稚園の保育の計画　（長崎市内のある幼稚園の例）

５歳児　月案（１１月）

＜Ⅳ期のねらい＞
- 友達と一緒に協力したり工夫したりして遊びを進めていく楽しさを味わう。
- 季節の移り変わりや自然の変化に気付く。

＜１１月のねらい＞
- 工夫したり友達と協力したりして遊びを楽しむ。
- 身近な自然にかかわりながら遊ぶ中で、季節や自然の変化に関心をもつ。

日	曜	園児
1	木	
2	金	
3	土	文化の日
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	交通安全教室②
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	角笛シルエット（年長）
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	避難訓練⑥
27	火	
28	水	餅つき会
29	木	
30	金	親子清掃
31	土	

週のねらい

・遊びのイメージや考えを出し合いながら友達と遊びを進め楽しむ。

・遊びをより楽しくする方法を考えたり、試したりして友達と遊びを楽しむ。☒

☒・木の実、木の葉に関心をもち、進んで拾ったり遊びに取り入れたりして楽しむ。

・季節に伴う自然の変化に関心をもつ。

保育の

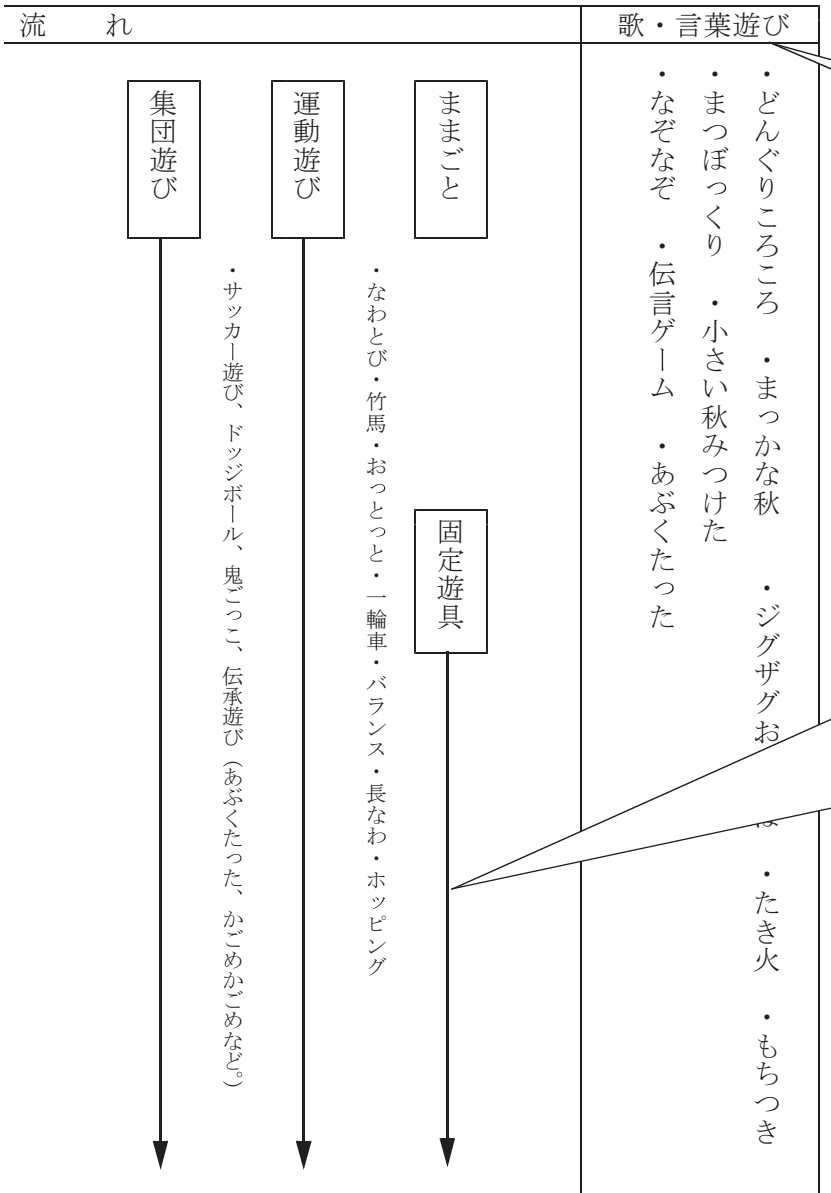
- 砂・泥遊び
  - ・チューリップ、サクラソウ、ブロッコリー、ハツカダイコン
- 自然とかかわっての遊び☒
  - ・チューリップ、サクラソウ、ブロッコリー、ハツカダイコン
  - ・いもほり　・木の実、木の葉集め　・水栽培（ヒヤシンス）
- 造形遊び
  - ・木の実、木の葉を使ってゲーム作り・どんぐり公園で遊ぶ・春の花、野菜を育てる。
- ごっこ遊び☒
  - ・お店やさんごっこ・レストランごっこ（しいの実やさんなど）・かげ絵遊び

・みんなの協力や役割分担の必要な遊びが生まれるように、できり、仲間の一員としてアイデアを出す。

・人とかかわることの楽しさを味わうことができるように、いろ

１年間を３～５の期に分けて、期ごとのねらいを書いています。

これは、あくまでも一例です。ここには月案を掲載していますが、年間計画、週案など様々な形式があります。幼稚園によってそれぞれ特色がありますので、保育内容や時期など計画は異なります。



子どもの興味・関心に応じて、季節の歌や手遊びを、適宜取り入れています。

遊びと遊びをつなぐ線は、遊びの関連や発展を表しています。
具体的な活動例が示してありますが、子どもの興味・関心により、時期や内容が変わることがあります。
行事や全体で取り組むことなど日程が決まっているものは、みんなで取り組みます。

子どもに対する保育者のかかわり、思いを書いています。

小学校の授業の計画　（長崎市内のある小学校の例）

第１学年　年間指導計画表

これは、あくまでも一例です。学校によって指導計画は異なります。

月	国　語	書　写	算　数	生活	音　楽
4	はる/あかるいこえで		0 オリエンテーション	**ともだち たくさんつくろう**	**うたでなかよしになろう**
	どうぞ よろしく/おはなし よんで	じをかくしせい	1 かずと すうじ	・よろしくおねがいします	○ うたでさんぽ
	うたにあわせて あいうえお	せんのれんしゅう	○5までのかず	**わたしのがっこうどんなところ**	○ ぞうさんのさんぽ
	ふたりで おはなし/あかい とり ことり		○10までのかず	・がっこうたんけんにしゅっぱつ	○ てとてであいさつ
	「はなの みち」		○かずあそび	きいて！おしえて！みつけたこと	
5	わけを はなそう	ひらがなのがくしゅう	2 なんばんめ	**はなややさいをそだてよう①**	◆ ひらいた ひらいた
	なぞなぞ あそび	・おわりかた	ふくしゅう・じゅんびうんどう	(継続)はやくめをだしてね	**はくを　かんじとろう**
	「あいうえおで あそぼう」	・かきじゅん	3 いくつと いくつ	(継続)おおきくなあれ	☆さんぽ
	「くちばし」	・かきはじめるところ		**わたしのつうがくろ**	○ なまえあそび
	なんて いったら いいのかな			・みんなにまもられているんだね	◆ かたつむり
6	「おさるが ふねを かきました」	せんのとちゅうのかきかた	4 いろいろな	・みんなのこうえんだね	**はくにのってリズムをうとう**
	こんないしを みつけたよ		ふくしゅう・じゅんびうんどう	**はなややさいをそだてよう②**	○ じゃんけんぽん
	「おむすび ころりん」			(継続)はながさいたよ	○げんこつやまの たぬきさん
	「は」「を」「へ」を つか			**おもしろいあそびがいっぱい**	☆ しろくまのジェンカ
	すきなもの なあに			・たのしくあそんだよ	○ ぶんぶんぶん
7	「おおきな かぶ」			・きれいにできたよ	○ ことばあそび
	ほんは ともだち			**なつはたのしいことがいっぱい**	◎ けんけんぱ
	かけるように なった/ひらがな あつまれ	しのかたち	ふくしゅう	たのしみだね みんなと	◆ うみ
	予備(言語活動等)			すごすなつやすみ	
9	「いちねんせいの うた」		8 20までのかず	**いきものとなかよし**	**けんばんハーモニカをふこう**
	「ゆうだち」	ひらがなのひょう	よみとるさんすう	・どんなところにいるのかな	○ ゆびあそびのうた
	おはなし きいて		9 おおきさくらべ(1)	・できたよむしのうち	☆ みつばちのぼうけん
	かずと かんじ	かたかなのがくしゅう	○ながさ，かさ，とけい	・げんきでいるかな	○ どんぐりさんのおうち
	「みいつけた」			**はなややさいをそだてよう③**	○なかよし
10	かたかなを みつけよう		10 3つのかずの けいさん	(継続)たねがとれたよ	○まねっこあそび
	かんじの はなし	かん字のがくしゅう	ふくしゅう・じゅんびうんどう	・みんなでたべるとおいしいね	○どれみでのぼろう
	「くじらぐも」	・かくのおわりかた		**あきとふれあおう**	
			11 たしざん(2)	・あきがいっぱいだね	**いろいろなおとに したしもう**
	しらせたいな，見せたいな	かくのとちゅうのかきかた		・どんないろどんなにおいどんなおと	☆シンコペーテッドクロック
11			12 かたち づくり	・たのしいねあきのあそび	○ がっきあそび
	ことばで あそぼう		ふくしゅう・じゅんびうんどう	**つくろうあきのおくりもの**	○ おとあそび
	じどう車 くらべ	文字のかたち		・おしえてあげるね たのしいあき	○ きらきらぼし
	「まの いい りょうし」		13 ひきざん(2)	・どんなあきこんなあき	**ようすをおもいうかべよう**
	むかしばなしが いっぱい	かきじゅん		**かぞくでいっしょにおしょうがつ**	☆ おどる こねこ
12	日づけと よう日		たすのかな ひくのかな	・ふゆがやってきたね	○ はる なつ あき ふゆ
	あつまれ ふゆの ことば	かきぞめ	14 0のたしざんと ひきざん	・こんなものができたよ	◆ ひのまる
	「ずうっと，ずっと，だいすきだよ」		15 ものとひとのかず	・あたらしいとしがはじまるよ	**おとのたかさにきをつけてうたおう**
	予備(言語活動等)		ふくしゅう		○どれみのあそび
1	「てんとうむし」		16 大きい かず	**かぞくでいっしょにおしょうがつ**	**たがいのおとをきこう**
	ものの 名まえ	かくのながさとほうこう	○かずのかぞえかた，かきかた	・おしえてもらったよ	○ あいあい
	おみせやさんごっこを しよう		○100までのかず		○やまびこごっこ
	かたかなのかたち		○おかね，さがしてみよう	**みんな　かぜの子**	○ とんくるりん ぱんくるりん
2	たぬきの糸車	かいてつたえよう	○100をこえるかず	・かぜであそんだよ	○ こいぬのマーチ
	ことばを たのしもう		かえますか かえませんか	・つめたいね たのしいね	
	これは なんでしょう	しりたい文字のせかい	17 100までのかずのけいさん	・おもしろいね ひかりとかげ	
	どうぶつの あかちゃん		ふくしゅう・じゅんびうんどう	**はるをさがそう**	**おんがくをたのしもう**
			18 おなじ かずずつ	みつけたよ はるのはじまり	○そろそろ はるですよ
3	にている かん字	学年のまとめ	19 おおいほう すくないほう	**もうすぐ　2年生**	☆くまばち はとぶ
	「だって だっての おばあさん」		ものの いち	・わたしの1ねんかん	(巻末)
		一年生で学しゅうしたかん字	20 大きさくらべ(2)	・ようこそ1年生	**ものがたりと　おんがく**
	いいこと いっぱい 1年生		もうすぐ 2	・ありがとうわたしのきょうしつ	○ おむすびころりん
	予備(言語活動等)		けい しゅう		[国歌]きみがよ

１学期は、生活科や学級活動（学活）の時間を中心に、学校生活に適応できるよう配慮しています。

３学期の終わりには、１年間の成長を振り返り、新しい１年生を迎えるための内容を計画しています。

長崎市が採択した教科書の内容に沿って作成した計画例です。

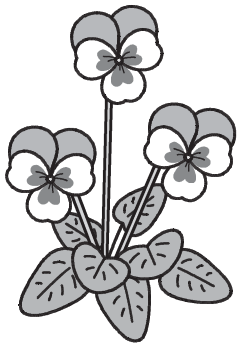
保育所や幼稚園での経験が生かせる内容がたくさんあります。

教科・領域により、また週・月により学習する内容について、計画を立てています。複数の教科・領域を関連させて学習することもあります。

図 工	体 育	道 徳	学 活	児童会	学校行事
かたち やいろを たのしもう(鑑)	体ほぐし運動		きょうから1年生		
		いつでもどこでも(礼儀)	学校の行き帰り		入学式
おひさまにこにこ(絵)		たのしいがっこう(愛校心)	もうすぐ給食	歓迎集会	歓迎遠足
	固定施設を 使った運動あそび	おれたクレヨン(生活習慣)			心電図検査
すきなものなあに(絵)					身体測定
みんなでかざろう(工)	走の運動遊び	じゅぎょうがはじまります	自分の持ち 物	応援練習	視力聴力検査
・たのしいかざり(選択)	・かけっこ・リレー	(公徳心規則尊重)	掃除の仕方	色別練習	
・ここにいるよ(選択)		おてつだい(家族愛)	避難訓練		運動会予行
すなやつち となかよし(造)	表現・リズム遊び				
・すなやつちで(選択)					運動会
・ねんどで(選択)		わたしはもんしろちょう(自然愛)	歯みがき		
	多様な動きを つくる	よかったね さっちゃん(温かい心親切)	チャイムの合図		スポーツテスト
ねんどでつみき(立)	運動遊び(バランス)	うみがめのあかちゃん(生命尊重)			
どんなかたち のかみにも(絵)		うかんだうかんだ(勤勉努力)			
クッキーやさんになろう(立)			1学期を終えて		被爆体験講話
		すてきがいっぱい(郷土愛)	夏休みのくらし		
おって たてて ゆめのまち(工)	水遊び	およげないりすさん(友情助け合い)			
			学級学校生活の		終業式
			充実・向上		大掃除
ドアのむこうに(絵)	水遊び	がっこうのようむしゅじさん(尊敬感謝)	2学期を がんばろう		始業式
ならべて つんで(造)	体ほぐし運動	かぼちゃのつる(健康安全)			身体視力測定
		はしのうえのおおかみ(温かい心親切)			
かたち から うまれたよ(絵)	マットを 使った運動遊び				
かげをうつして(鑑)		よりみち (公徳心規則尊重)	交通安全		
	鉄棒を 使った運動遊び	やぎさんのたんじょうび(礼儀)	いろいろな本		
プレゼントを どうぞ(工)		あさがおのかんさつ(生命尊重)			
		おつきさまがみている (畏敬の念)			
どうぶつさんだいすき(立)	体つくり運動				
いろいろぺったん(造)	・用具操作, 竹馬遊び	ひつじかいのいたずら(誠実)【情報】	みんな仲良く		
・ペッタン ペッタン(選択)		ぼくにまかせてね(勤労)			
・いろいろうつして(選択)		よりみち(勇気)			
かんじたこと おもったこと(絵)	ボール投げゲーム	きいろいベンチ(公徳心規則尊重)			人権集会
なにに なるかな(造)		こぐまのらっぱ(勤勉努力)	2学期を終えて		
		さっちゃんのおきにいりの場所	冬休みのくらし		マラソン大会
のってみたいな(絵)	体つくり運動	(家族愛)			
	・体の移動, 跳び箱遊び	ニわの ことり(友情協力)	学級学校生活の		終業式
			充実・向上		大掃除
ニョ キニョ キとびだせ(工)	体ほぐし運動	ランドセルは十二さい(健康安全)	3学期を がんばろう		始業式
・はこからニョ キニョ キ(選択)		ひかった おほしさま(畏敬の念)	給食ありがとう		身体測定
・ニョ キニョ キおめん(選択)		おじさん, なにやっているの			
	ゲーム	(尊敬感謝)			
はこのなかまたち(立)	・鬼遊び	みみずくとおつきさま(勇気)	係さんありがとう		
・つんでつくろう(選択)		きんいろのクレヨン(誠実明朗)			
・ならべてつくろう(選択)		かたつむりのおやこ(動植物愛護)			
	体つくり運動	いのちがあってよかった(生命尊重)			
おはなし だいすき(絵)	・力試し				
		ぼくにできること(温かい心親切)	もうすぐ2年生	6年生を	
コロコロ ゆらゆら(工)		ニねんせいになっても(愛校心)	春休みの生活	送る会	
・コロコロ ころがれ(選択)	ボール蹴りゲーム				
・ゆらゆらシーソー(選択)			学級学校生活の		修了式・離任式
			充実・向上		

保育の記録と
授業の記録（通知表）を
比べてみよう

最後に、保育所の記録と幼稚園の保育の記録、小学校の授業の記録を比較してみます。保育の記録として、小学校の教職員にとっては、なかなか目にする機会のない個人の保育記録の例を掲載しています。授業の記録として、保護者向けの通知表の例を掲載しています。比較してみると、記録の仕方の違いだけでなく、保育所、幼稚園、小学校がそれぞれ大切にしていることが見えてくるのではないでしょうか。



保育所の保育の記録　（長崎市内のある保育所の例）

５歳児保育記録

長崎市○○保育所　　５歳児保育記録

児童氏名　○　○　Ａ子　(平成　　年　　月　　日生)

	4月　～9月	10月　～　3月
家庭状況	父 母　　育児休業後８月より職場復帰 弟　(８月より、０歳児クラス在籍) 本児 ※近所に住む母方祖母が、保育所の送迎など支援…	
健康・安全・人間関係・ことば・表現・認識・操作・運動・あそび	○　一日の生活の流れに見通しを持って生活している。朝７時前…き、夜９時半頃に眠る。９時に登所し ５ …降所。偏食は無いが箸の持ち方が交差…ので指導中である。約 30 分で食… …あるので、見守り声かけをしていく。 ○　同年齢、異年齢の友だちとの関り方は穏やかだが、強引なかかわり方に我慢していることがあるので嫌な時は相手に言えるよう援助していく。集団で遊ぶ時など遊び方を提案することもある。 ○　絵本、紙芝居、物語を喜んで見たり聴いたりしている… いた… ○　ロ… いる… 遊び… 手感… の絵の具、マジックなどで描いている。 ○　飼育しているカブトムシの幼虫の変化に興味を持ち図鑑と比べている。 ○　手指先の細かい作業が得意で、折り紙の本を見ながらできるところ迄を折っている。ビーズ、粘土なども細かい作業を好んでしている。 ○ … ○ …だ子どもだけでは難しいこともあるので遊びが持続するよう保育士がかかわっている。	○　一月から午睡をしなくなったため、帰宅後夕食を食べながら眠くなるということが２週間ほどあったがその後は生活リズムも落ち着いてきたということである。箸の持ち方は安定してきた。 ○　基本的な生活習慣（早寝早起きの生活リズム、着脱衣、食事、排泄など）はほぼ自立している。 ○　安全については経験的に身についてきており、小さい弟の傍に友だちが来て触ろうとすると「あぶない」と注意している。遊び方でも周囲の危険回避ができている。 ○　初めての場所、人に慣れるのに時間がかかるが、学校行事参加、給食交流など小学校に行くことで、就学への不安感が減り、期待感が芽生えている。情緒的に穏やかに感じ取っていく本児のペースに寄り添いながら、今までと違う人間関係を作っていける自信をもたせるようにした。いやなことをされた時は「しないで」と意思表示することができるようになった。小学生との交流時、安心すると大きい声で笑い合っている ○　長いお話を好むようになり「エルマーの冒険」を繰り返し読んでもらうことを喜んでいる。病院ごっこではカルテ係を引き受け、知っている字を書いているが、違う筆順や鏡文字になることもあり、気付かせながら正しい書き方を知らせた。友だち同士でも就学のことが話題になっており、不安と期待が交錯しているので、見守りながら期待につながるような言葉かけをしていく。 ○園庭のどんぐりを毎日のようにバケツ一杯に集めている。自然物での遊び方を知らせると試しながら作っていた。三つ網、あやとり、折り紙、ビーズ遊びなど手指先を使うことを好み、夢中になると３０分程集中している。「外遊びはあんまり好かん」と言うことが多いが、戸外では活発でサッカー… 遊…
特記事項	弟誕生前後 2 ヶ月程、情緒的に不安定になる。保育士がそばにいると落ち着く。母親に、甘えたいのを我慢している本児のせつない気持ちや、スキンシップの必要性を伝えた。その後触れ合う時間ができているようで、保育所での様子も安定した。 7月　流行性結膜炎のため１週間欠席。	

一人一人の発達や心身の状態に応じた適切な援助をするため、個別に記録をしています。

保育所で比較的長時間を過ごすので、養護の役割も大きく、家庭生活の実態把握は欠かせません。

これは、あくまでも一例です。保育所によって記録の様式は変わります。

記録には子どもの実態だけでなく、保育者のかかわりも含めて書いています。

各年齢の記録は小学校に送付する保育要録の基礎資料になります。

保育所の保育の記録　（長崎市内のある保育所の例）

５歳児保育記録

長崎市〇〇保育所　　５歳児保育記録

児童氏名　〇　〇　Ａ子　（平成　　年　　月　　日生）

	4月　～9月	10月　～　3月
家庭状況	父 母　　育児休業後８月より職場復帰 弟　(８月より、０歳児クラス在籍) 本児 ※近所に住む母方祖母が、保育所の送迎など支援	
健康・安全・人間関係・ことば・表現・認識・操作・運動・あそび	○　一日の生活の流れに見通しを持って生活している。朝７時前に起き、夜９時半頃に眠る。９時に登所し ５ … 降所。偏食は無いが箸の持ち方が交差 … ので指導中である。約 30 分で食 … … あるので、見守り声かけをしていく。 ○　同年齢、異年齢の友だちとの関り方は穏やかだが、強引なかかわり方に我慢していることがあるので嫌な時は相手に言えるよう援助していく。集団で遊ぶ時など遊び方を提案することもある。 ○　絵本、紙芝居、物語を喜んで見たり聴いたりしている … いた … ○　ロ … いる … 遊び … 手感 … の絵の具、マジックなどで描いている。 ○　飼育しているカブトムシの幼虫の変化に興味を持ち図鑑と比べている。 ○　手指先の細かい作業が得意で、折り紙の本を見ながらできるところ迄を折っている。ビーズ、粘土なども細かい作業を好んでしている。 ○ … ○ … まだ子どもだけでは難しいこともあるので遊びが持続するよう保育士がかかわっている。	○　一月から午睡をしなくなったため、帰宅後夕食を食べながら眠くなるということが２週間ほどあったがその後は生活リズムも落ち着いてきたということである。箸の持ち方は安定してきた。 ○　基本的な生活習慣（早寝早起きの生活リズム、着脱衣、食事、排泄など）はほぼ自立している。 ○　安全については経験的に身についてきており、小さい弟の傍に友だちが来て触ろうとすると「あぶない」と注意している。遊び方でも周囲の危険回避ができている。 ○　初めての場所、人に慣れるのに時間がかかるが、学校行事参加、給食交流など小学校に行くことで、就学への不安感が減り、期待感が芽生えている。情緒的に穏やかに感じ取っていく本児のペースに寄り添いながら、今までと違う人間関係を作っていける自信をもたせるようにした。いやなことをされた時は「しないで」と意思表示することができるようになった。小学生との交流時、安心すると大きい声で笑い合っている ○　長いお話を好むようになり「エルマーの冒険」を繰り返し読んでもらうことを喜んでいる。病院ごっこではカルテ係を引き受け、知っている字を書いているが、違う筆順や鏡文字になることもあり、気付かせながら正しい書き方を知らせた。友だち同士でも就学のことが話題になっており、不安と期待が交錯しているので、見守りながら期待につながるような言葉かけをしていく。 ○園庭のどんぐりを毎日のようにバケツ一杯に集めている。自然物での遊び方を知らせると試しながら作っていた。三つ網、あやとり、折り紙、ビーズ遊びなど手指先を使うことを好み、夢中になると３０分程集中している。「外遊びはあんまり好かん」と言うことが多いが、戸外では活発でサッカー …
特記事項	弟誕生前後 ２ ヶ月程、情緒的に不安定になる。保育士がそばにいると落ち着く。母親に、甘えたいのを我慢している本児のせつない気持ちや、スキンシップの必要性を伝えた。その後触れ合う時間ができているようで、保育所での様子も安定した。 7月　流行性結膜炎のため１週間欠席。	

一人一人の発達や心身の状態に応じた適切な援助をするため、個別に記録をしています。

保育所で比較的長時間を過ごすので、養護の役割も大きく、家庭生活の実態把握は欠かせません。

これは、あくまでも一例です。保育所によって記録の様式は変わります。

記録には子どもの実態だけでなく、保育者のかかわりも含めて書いています。

各年齢の記録は小学校に送付する保育要録の基礎資料になります。

小学校の授業の記録（通知表）

（長崎市内のある小学校の例）

通知表は、子どもたちの学習の様子や生活の様子を学期末に保護者にお知らせするものです。この通知表は、あくまでも一例で、学校によって、通知表の様式は異なります。

小学校通知表（１年生　１学期）学習のようす

教科	評価の観点	できる	がんばろう
国語	言葉に関心をもち，進んで表現したり，やさしい読み物を楽しんで読んだりしようとする。		
	主語と述語をはっきりと話したり，大事なことを落とさずに聞いたりする。		
	簡単な文章を書いたり，正しく書き写したりする。		
	書かれている事柄の順序を考えたり，場面の様子を想像したりしながら読む。		
	ひらがなを正しく使ったり，文字をていねいに書いたりする。		
算数	数や量，形に親しみをもち，進んで学習しようとする。		
	ブロックを操作しながら解決したり，式に表したりすることができる。		
	１０までのたし算やひき算の計算が正しくできる。		
	１０までの数や計算，箱の形について正しく理解している。		
生活	自分やまわりの人やもの,動植物に関心をもち，楽しく生活しようとする。		
	調べたり，育てたりしたことを絵や文，発表などで表現する。		
	活動を通して，自分と学校，地域，動植物との関わりに気づく。		
音楽	音楽に合わせて楽しく歌ったり，演奏したりしようとする。		
	曲の感じに合うように，歌い方や身体表現を工夫する。		
	声をそろえて歌ったり，簡単なリズム打ちをしたりすることができる。		
	リズムや旋律を感じとりながら聴くことができる。		
図工	自分の思いをもって，進んで描いたり，作ったりして楽しもうとする。		
	思いついたものの感じや特徴がよく表れるように工夫する。		
	自分の気持ちが伝わるように，作品に表すことができる。		
	作品のおもしろさやよさに気づいて，楽しく鑑賞することができる。		
体育	仲よくきまりを守り，安全に気を付けて，進んで楽しく運動しようとする。		
	運動やゲームの仕方を考え，いろいろな動きを工夫する。		
	体つくり運動や固定施設を使った運動遊びを楽しく行うための技能が身に		

１年生の１学期は２段階の評価を、２学期からは３段階の評価を行っている学校が多くあります。

学年の発達段階に応じ、評価の観点を設定しています。
よいと判断されるものに○、努力してほしいものに△をつけています。

「関心･意欲･態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の評価観点をもとに、各教科の特性に応じた観点で評価しています。

生活のようす

評価の観点	○△
気持ちのよいあいさつができる。	
忘れ物をしないように準備している。	
時間に気をつけて生活している。	
外で元気に遊んでいる。	
よいと思うことは進んで行う。	
係や当番活動など、自分でやらなければならないことはしっかりと最後まで行う。	
自分で考え、工夫しながら取り組む。	
友だちに温かい心で接し、互いに助け合う。	
自然に親しみ、生きている物に優しく接する。	
みんなのためになることを進んで行う。	
自分の好き嫌いや利害にとらわれないで行動する。	
みんなが使う物を大切にし、約束や決まりを守って生活する。	

日頃の授業の様子を観察し、発言、ノート、作品、テストなど様々な方法で総合的に評価しています。

学習・生活について

出欠のようす	
忌引・停止	
病気	
その他	
遅刻	
早退	

家庭から

学習の様子や生活の様子の評価に照らし、学期ごとに、子どもが特に努力した点や今後の課題などを文章でお知らせしています。
個々の児童の良さや教師の指導や支援などを具体的に書き、家庭と連携しながら、児童の成長を促す手立てとしています。

３　保育者と小学校教職員の声を聞いてみよう

保育所・幼稚園の先生に聞きました

「小学校の先生にどんなことを望んでいますか。」

1　情報交換を密にしたい。

・小学校入学前に、卒園児のことについて情報交換の場を設けたい。
・卒園後の子どもたちの様子を聞ける場を設けたい。
・引き継ぎ事項の確認をしたり、入学後の対応について話し合う場を設けたい。

2　子どもの自主性を伸ばしてほしい。

・保育所や幼稚園で育てた自主性や、自分のことに取り組む意欲を小学校入学後もそのまま伸ばしてほしい。赤ちゃん扱いはしないでほしい。
・保育所や幼稚園では年長として、自主性や自信をもたせているが、小学校１年生では一番年下ということで、してもらうことが多い。自立している部分はそのまま伸ばしてほしい。

3　保育所・幼稚園の様子を見に来てほしい。

・保育所や幼稚園の保育に関心をもってほしい。子どもたちの様子を見てほしい。
・保育や行事を見に来て、園児の実態や保育の様子を知ってほしい。

その他

・幼稚園幼児指導要録や保育所児童保育要録を大いに活用してほしい。
・給食の様子を見たり、試食したり、授業を参観したりして、卒園児の様子を知りたい。
・小学校との交流の機会をもちたい。
・特別な支援が必要な子どもの情報交換の場を、入学前も入学後も密に設け、支援体制を継続していきたい。

調査協力：長崎市内の私立保育園、市立保育所の保育者127人
　　長崎市内の私立幼稚園、市立幼稚園の保育者100人、計227人
調査時期：平成24年7月
調査方法：アンケート（代表的な意見を掲載）

小学校の先生に聞きました

「保育所・幼稚園の先生に
どんなことを望んでいますか。」

1 具体的な内容の情報交換をしたい。

・配慮が必要な子どもの様子､対応などを引き継ぐ場をつくりたい。
・保護者についての情報や、保護者が抱える悩みが知りたい。
・保育の活動内容、重点目標、ルールを教えてほしい。

2 交流や参観をたくさんしたい。

・小学校と交流ができれば、入学への期待や上の学年の児童とのつながりをもつことができる。
・保育所や幼稚園での生活を小学校教職員も理解できれば、今後に生かせる。

3 子どもが身の回りのことを自分でできるように支援してほしい。

・あいさつ、返事がしっかりできるよう促していただき、小学校でも継続した指導ができるようにしたい。
・小学校では集団行動をする場面が多いので、保育所や幼稚園でも集団で活動する経験も積んでほしい。また、集団に馴染めない子どもへの対応を知りたい。

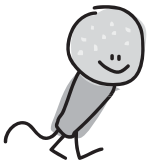
その他

・文字や数の指導といった、小学校の学習の先取りよりも、幼児期のうちは、思いきり遊ばせてほしい。
・体験活動をたくさんさせてほしい。
・子どもの育ちについて一緒に研修を深めたい。

調査協力：長崎市内の市立小学校および私立小学校の教職員54人
調査時期：平成24年7月
調査方法：アンケート（代表的な意見を掲載）

保育者も教職員も、子どもや保護者の様子について情報交換をしたいと思っているんだね。
保育者と教職員とでは、子どもの見方が少し違っているところがあるね。

４　子どもの声を聞いてみよう



年長児に聞きました

「小学校入学、何か心配なことはありますか？
楽しみなことはありますか？」

不安・心配

人

○ 先生に叱られないかな？
○ 友達とけんかしないかな？
○ 友達ができるかな？

もの

○ たくさん部屋があるから、学校の中で迷子にならないかな？

こと

○ 運動会でいろいろするみたいだけど、大丈夫かな？
○ テストをちゃんとできるかな？
○ 勉強でまちがえないかな？
○ 勉強をしないとおこられる。
○ 給食を食べられるかな？

ある程度の不安や心配な気持ちは、当然の感情です。全てを取り除くことはできませんし、そうした気持ちを乗り越える経験を通して成長することもたくさんあります。

ただ、必要以上の、子どもを苦しめる不安感はなくしたいものです。どのような段差はなくしたほうがよいのか、どのような段差は積極的に取り入れたいか、個人差にも配慮しながら話し合ってみましょう。

楽しみ・期待

人

○ 友達をたくさんつくりたいな。
○ 友達と仲良く遊びたいな。
○ 近くのお兄ちゃんと学校で遊ぶのが楽しみ。
○ 学校でお姉ちゃんと会えるのが楽しみ。

もの

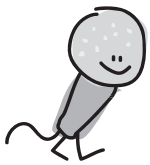
○ 給食が楽しみだな。
○ 鉄棒で遊べるのが楽しみだな。
○ 大きいプールで遊びたい。
○ 水色のランドセルを買ってもらうのが嬉しいな。

こと

○ 学校ですること全部が楽しみ。
○ 勉強が楽しみだな。早く勉強したいな。
（国語・算数・生活・道徳・英語・習字・カタカナ・たし算）
○ 宿題をたくさんしたい。
○ いっぱい遊びたいな。
○ 運動会が楽しみだな。
○ 給食が楽しみだな。好きなおかずが出るといいな。
○ サッカーや野球をしたいな。

調査協力：長崎市立Ａ幼稚園5歳児46人
調査時期：平成24年9月
調査方法：インタビュー（代表的な意見を掲載）

小学校の様子をきょうだいや、周りの人から聞いたり、子ども自身が見学などで経験したりして、小学校入学に期待を寄せている子どももたくさんいます。
そうした子どもの気持ちを保育所や幼稚園で大切に育み、小学校でしっかり受け止めていきましょう。



1年生に聞きました

「保育所や幼稚園と、小学校は何が違うの？」

人

○　小学校は子どもがいっぱいいる。
○　先生もいっぱいいる。
○　小学校の先生は厳しい。
○　保育所の先生が厳しい。

〈保育所〉
仲良しのお友達

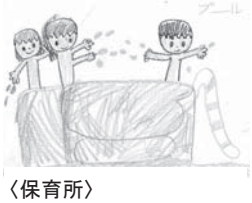
〈幼稚園〉
仲良しのお友達

〈小学校〉
人がいっぱい

もの

○　小学校は教室が広い、多い。
○　小学校は絵本がいっぱいある。
○　遊び道具が違う。
○　遊びが違う。幼稚園では○○ライダーごっこをした。
○　小学校はプールがある。
○　小学校は机がいっぱいで、自分の机。幼稚園は床に座る。
○　ランドセルがある。
○　名札がちがう。小学校は黄色の帽子をかぶる。
○　トイレがちがう。
（小学校は大きい。座らないトイレ。ドアにかわいい猫の絵がない。）

〈幼稚園〉
ブランコで遊んだよ



〈保育所〉
小さいプールがある

〈小学校〉
自分の机がある

〈小学校〉
いろんな部屋がある

あのね、心配だったこともあるんだ・・・

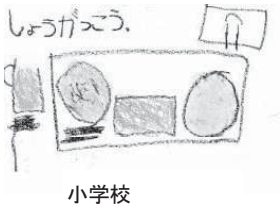
○　友達ができるかな、友達はいじわるしないかなと心配だったよ。
○　お母さんと離れるのが心配だった。お母さんと学校に行きたいと思ったんだ。
○　先生に怒られるかもしれないから心配だった。
○　トイレが汚れていたら嫌だなとか、クモが出たらこわいと思ってたよ。
○　道に車が多いのや横断歩道がこわかった。
○　ランドセル重いから持てるかなと心配だった。
○　教室、どこかなって迷子にならないかな、こわい部屋はないかなと心配だった。
○　勉強ができるか心配だった。
○　給食を食べるのが心配だった。（嫌いなトマトが出たらどうしよう。量が多かったらどうしよう。）
○　給食当番が心配だった。（運ぶのが重いから心配。当番でこぼさないか心配。）

こと

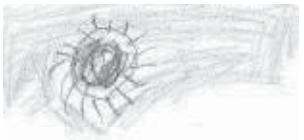
○　小学校は勉強するところ。
○　小学校は遊ぶ時間がすぐ終わる。
○　小学校は宿題がある。
○　幼稚園はおうちの人といっしょに行った。
○　保育園にはおやつがあった。
○　幼稚園はお弁当だけど、小学校は給食。
○　小学校は給食当番をする。

幼稚園
お弁当を食べるよ

保育所
お花を育てたよ



小学校
給食を食べるよ



小学校
運動会で玉入れしたよ

幼稚園
お店屋さんごっこをしたよ

小学校
先生と友達と勉強する

心配だったけど、大丈夫。だって・・・

○　幼稚園から一人だけ入学だったけど、知っている友達がいたもん。
○　新しい友達ができたから、大丈夫。
○　先生は、やさしいよ。がんばったらほめてくれるよ。
○　トイレがちがったけど（和式）どっちも使えるから大丈夫だった。
○　給食当番できたよ、おもしろいよ。
○　給食は、減らしてもいいんだ、よかった。
○　お勉強、楽しいよ。

１年生に
なったよ

調査協力：長崎市立Ｂ小学校第１学年60人
調査時期：平成24年5月～6月
調査方法：描画・インタビュー
　　代表的な意見を掲載

５　保護者の声を聞いてみよう

年長児の保護者に聞きました

「小学校入学、心配なことはありますか？」

お友達と仲良くできるかが一番心配です。いじめられたり、いじめたりしないかとても気になっています。高学年のお兄さんやお姉さんに、かわいがってもらえるでしょうか。

うちの子どもは、和式のトイレでしたことがありません。自宅も幼稚園も全部洋式トイレです。学校のトイレは、ほとんどが和式だと聞いています。ちゃんとできるか心配しています。大丈夫ですか？

給食を時間内に食べられるのかな？少し好き嫌いもあるし、家では食べるのが遅いし…。食べられなかったら、昼休みも遊べずに教室に残って食べさせられるの？

保育所は、お昼寝があったけど小学校にはありません。当たり前ですが一日の生活の流れが全然違うので、はじめ、ついていけるかが心配です。

仕事をしているので、授業参観の回数や頻度を早めに知りたい。なかなか休めないが、できるだけ行きたいと思っています。

登下校時は、近くに小学生がいないため一人です。歩道にガードレールがないところもあります。また最近は、不審者の情報も多く心配です。

放課後は学童にお世話になりたいけど、今のところ学童の情報が全然ない。

英語の学習が始まったって聞いたけど、どんな感じなのかな？

やっぱり勉強のことが心配です。集中力が続くかどうか気になります。また、塾や習い事に行っている子どもさんと、差ができないかも気になっています。入学までにやることはないですか？

調査協力：長崎市内Ｃ保育園・Ｄ保育園・Ｅ保育園の保護者157人
調査時期：平成24年8月
調査方法：アンケート（うち、回答のあった計42人の代表的な意見について掲載）

1年生の保護者に聞きました

「入学して、戸惑ったことはありますか？」

○トイレについて
・洋式トイレが少ないことに驚きました。洋式トイレは人気があるみたいで、なかなか使えなかったようです。
・保育所のトイレに比べて、小学校のトイレは少し汚れていて臭いもあり、子どもがトイレを我慢して帰ってきたこともありました。

○給食について
・デザートの果物が大きくて、食べにくかったようです。
・食べる時間が想像していたより短いです。

○お便りについて
・幼稚園では、その日の出来事や怪我をした状況などを詳しくお知らせしてくれたが、小学校ではあまりありません。
・特に、水泳や図工については準備物が多いが、そのお知らせが遅いと感じました。もう少し早めに教えてくれると助かります。

○授業参観・懇談会について
・意外と回数が多いと思いました。

○持っていくものについて
・毎日多くの教科書を持って行っています。ランドセルはパンパンです。特に　　月曜日は、上履きや体操服・給食着など持っていくものが多く、まだ１年　　生なので登下校が大変そうです。

○冷暖房について
・小学校にはいまだに冷暖房が完備されていないことに驚きました。

○学習について
・はじめはついていけるか心配でしたが、先生が丁寧に教えてくださるので、安心しました。

調査協力：長崎市立Ｆ小学校保護者313人
調査時期：平成24年8月
調査方法：アンケート
うち回答のあった52人の代表的な意見について掲載

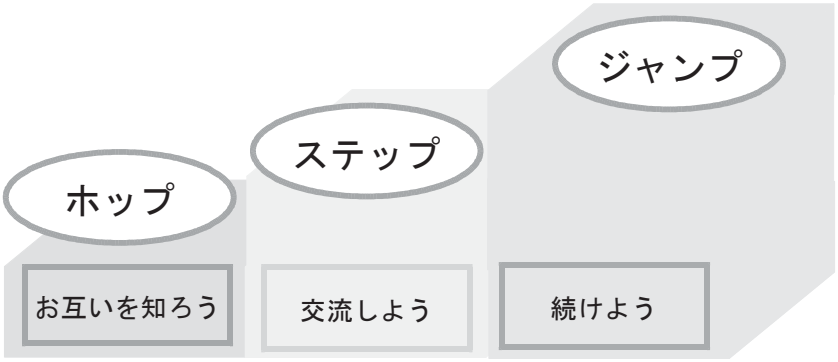
小学校と保育所や幼稚園の先生方が日頃から情報交換を行い、入学予定児やその保護者が、不安や疑問に思っていることなどについての情報を事前に知り、的確で迅速な対応をすることが大切です。

また、小学校の様子を保育所や幼稚園の先生が知っていれば、すぐに対応できますし、小学校では入学説明会の際の説明項目に入れるなどの配慮を行うことができます。

第4章
どのように連携するか

連携のステップ 「ホップ・ステップ・ジャンプ」

それぞれの保育所、幼稚園、小学校の状況に応じて、できるところから無理なく、連携していきましょう。そこで、連携の目安となる段階を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の３段階で表しました。



ホップ

☆　保育所、幼稚園と小学校の情報（行事など）を共有しよう。
☆　子どもに関する情報を共有しよう。

ステップ

☆　お互いの職場や子どもの様子を見学しよう。
☆　職員[1)]同士の交流をしよう。
☆　子ども同士の交流をしよう。

ジャンプ

☆　取組を続けよう。
☆　本音で語り合えるように、続けよう。
☆　自分を振り返りながら続けよう。

1）職員・・・保育所、幼稚園、小学校に勤務する保育士や教職員。

1　「ホップ」 お互いを知ろう

☆　保育所･幼稚園と 小学校の情報を 共有しよう

お互いの窓口になる人をつくろう

○　連携の第一歩はお互いを知り合うことから。そのためには、なんと言っても施設長のリーダーシップが重要です。また、窓口になる人を立てることが大切です。

　長崎市立の小学校には「幼保小連携担当者」がいます。保育所・幼稚園の窓口は、所長や園長、主任などぞれぞれ異なりますので、尋ねてみましょう。

　まずは、連絡を取り合ってみましょう！

学校便り、園便りを交換しよう

○　お互いの保育・教育方針など、意外と知らないことは多いものです。

　便りを読むことによって、それぞれが大切にしていることや、力を入れていることなどが見えてきます。

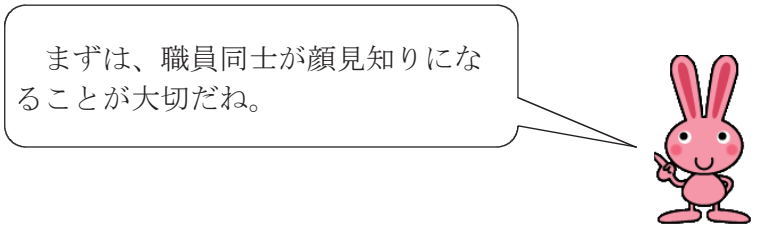
　お互いの便りを交換して、読んでみましょう！

行事予定も交換しよう

○　行事予定表には年間の行事予定がびっしり。行事予定からお互いの動きが分かります。

　交流を進めていくためにも、行事予定を知っていると何かと便利。

　積極的にお互いの行事に参加してみることで、初めの一歩を踏み出すチャンスになるかもしれませんよ。



☆ 子どもに関する情報を共有しよう

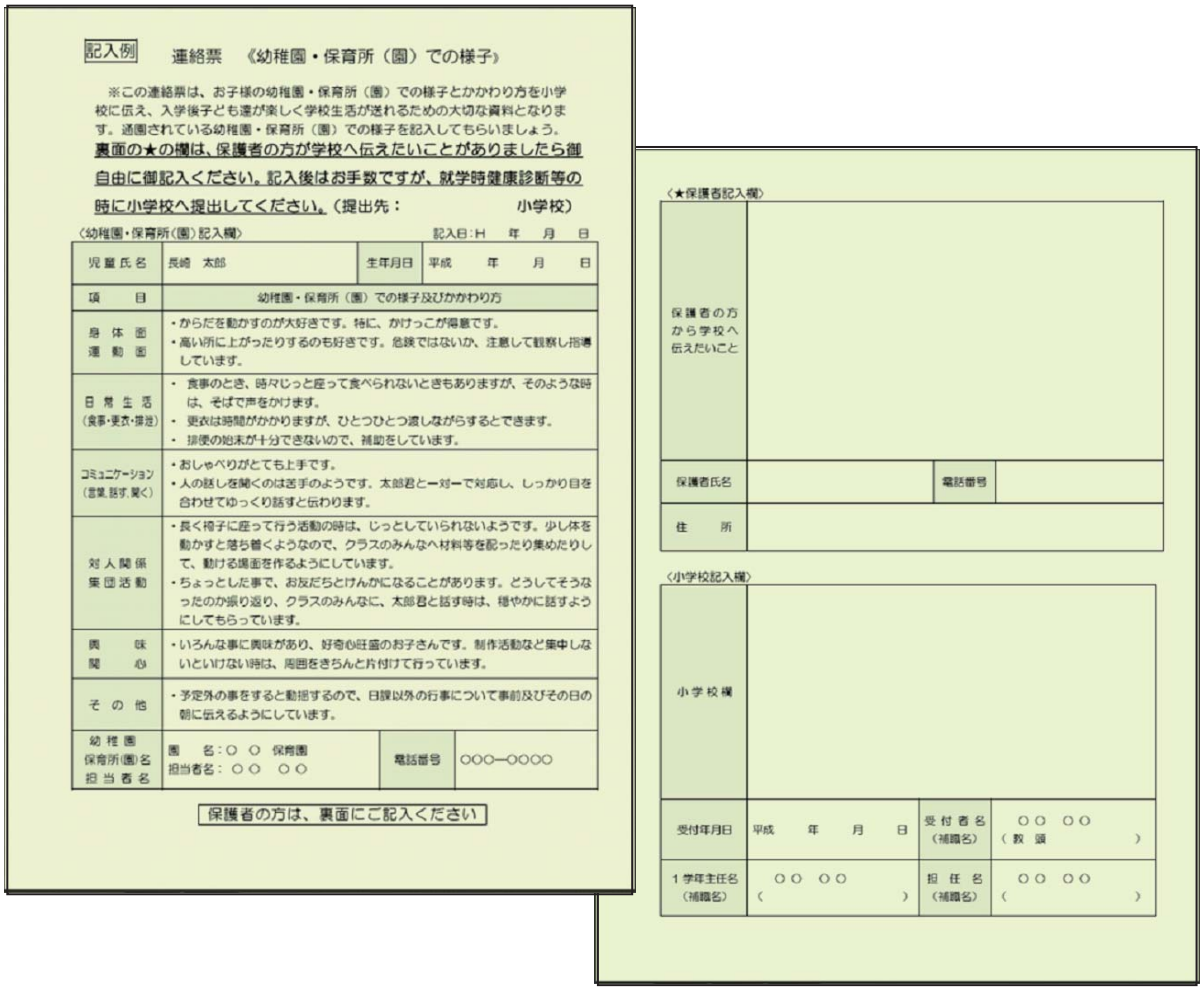
「連絡票」をもとに連絡を取り合おう

○　長崎市では、新しく小学校生活を始める上で、配慮が必要だと思われる子どもについて、保育所・幼稚園において子どものかかわり方等で配慮したことを小学校へ引き継ぐこととしています。
　保護者の同意を得られた子どもについて、小学校へ引き継ぎたい内容を保育所・幼稚園が「連絡票」（若草色のシート）の表面に記入し、裏面には、小学校に知ってほしい内容を保護者が記入します。提出は、11月の就学時健康診断時です。

○　小学校ではこの連絡票を、学級編制や個別の教育支援計画作成に活用するなど、児童の様子を知るために大変助かっているという声が多く聞かれます。

○　情報が正しく伝わったかどうかの確認のためにも、受け渡した後に連絡を取り合いましょう。

　連絡票がきっかけとなり、一人一人の得意なこと・苦手なことについて保護者と情報交換をすることができました。
　見通しのきかないことが苦手なお子さんについては、入学式のリハーサルを行うなど対応しています。入学式を喜んで終わることができ、よいスタートを切ることができました。



記入例　連絡票　《幼稚園・保育所（園）での様子》

※この連絡票は、お子様の幼稚園・保育所（園）での様子とかかわり方を小学校に伝え、入学後子ども達が楽しく学校生活が送れるための大切な資料となります。通園されている幼稚園・保育所（園）での様子を記入してもらいましょう。

裏面の★の欄は、保護者の方が学校へ伝えたいことがありましたら御自由に御記入ください。記入後はお手数ですが、就学時健康診断等の時に小学校へ提出してください。（提出先：　　小学校）

〈幼稚園・保育所(園)記入欄〉　記入日：H　年　月　日

児童氏名	長崎　太郎	生年月日	平成　年　月　日
項　目	幼稚園・保育所（園）での様子及びかかわり方		
身体面 運動面	・からだを動かすのが大好きです。特に、かけっこが得意です。 ・高い所に上がったりするのも好きです。危険ではないか、注意して観察し指導しています。		
日常生活 （食事・更衣・排泄）	・食事のとき、時々じっと座って食べられないときもありますが、そのような時は、そばで声をかけます。 ・更衣は時間がかかりますが、ひとつひとつ渡しながらするとできます。 ・排便の始末が十分できないので、補助をしています。		
コミュニケーション （言葉、話す、聞く）	・おしゃべりがとても上手です。 ・人の話しを聞くのは苦手のようです。太郎君と一対一で対応し、しっかり目を合わせてゆっくり話すと伝わります。		
対人関係 集団活動	・長く椅子に座って行う活動の時は、じっとしていられないようです。少し体を動かすと落ち着くようなので、クラスのみんなへ材料等を配ったり集めたりして、動ける場面を作るようにしています。 ・ちょっとした事で、お友だちとけんかになることがあります。どうしてそうなったのか振り返り、クラスのみんなに、太郎君と話す時は、穏やかに話すようにしてもらっています。		
興　味 関　心	・いろんな事に興味があり、好奇心旺盛のお子さんです。制作活動など集中しないといけない時は、周囲をきちんと片付けて行っています。		
その他	・予定外の事をすると動揺するので、日課以外の行事について事前及びその日の朝に伝えるようにしています。		
幼稚園 保育所(園)名 担当者名	園　名：○　○　保育園 担当者名：○○　○○	電話番号	○○○－○○○○

保護者の方は、裏面にご記入ください

〈★保護者記入欄〉

保護者の方から学校へ伝えたいこと	
保護者氏名	電話番号
住　所	

〈小学校記入欄〉

小学校欄			
受付年月日	平成　年　月　日	受付者名 （補職名）	○○　○○ （教　頭　　）
1学年主任名 （補職名）	○○　○○ （　　）	担任名 （補職名）	○○　○○ （　　）

要録を子ども理解に活かそう

○　要録は、保育所・幼稚園生活を通して、子どもが育ってきた姿や発達の状況を記録したものです。小学校において子どもの理解を助け、その後の子どもの育ちを支えていくための資料となります。大いに活用しましょう。

１年生の担任は、何度も何度も要録に目を通しています。本当にありがたい資料です。

２　「ステップ」 交流しよう

☆　見 学 を し て み よ う

見学は「いつでも　ＯＫ！」の気持ちで

○　生活の場が保育所・幼稚園から小学校に変化しても、子どもたち自身の発達や学びは途切れることなくつながっています。保育者は、卒園した後の子どもの姿を見ることで、子どもがどのように育っていくのかが理解でき、保育に見通しをもつことができます。また、小学校の教職員は就学前の子どもの様子を見ることで、子どもがどのように育ってきたのかを理解した上で、これからの教育を見通すことができます。

　保育や授業に支障がない限り、見学の申し入れがあれば、「いつでもＯＫ！」の気持ちで、受け入れてくれるはずです。

　年齢・学年関係なく、行事はもちろんですが、普段の生活や学習の様子を見て子どもたちの理解を深めましょう。

○　保育所には夏休みはありません。

　小学校の先生方、夏休みを利用して保育所の子どもたちの様子を見に行ってみましょう。

　私の保育所では、毎年「長崎っ子の心を見つめる教育週間」（５月～７月）の時期に子どもたちと一緒に学校見学を行っています。

　１学期に顔なじみになれるので、その後の訪問もしやすくなります。

こんなところを見てみよう

○　例えば、こんなところを見てみましょう。

・給食の時間
・掃除の時間
・活動の時間
・行事の様子
・いろいろな施設（トイレ、特別教室、図書室など）

☆ 職 員 同 士 の 交 流 を し よ う

見学の後は、お話をしよう

○　保育や授業を見学していると、分からないことや聞きたいことが出てくることでしょう。そんな時には見学後にその場で尋ねてみましょう。担当の先生の考えや思いがよく分かります。

　感じたことをお伝えするのもいいでしょう。保育所や幼稚園で大切にしていることや、小学校で大切にしていることについて、触れることができるはずです。

　せっかくの見学の機会ですので、是非、お話をしましょう。

気軽に連絡を取り合おう

○　「園児の時はどうだったのかな。」「卒園後、今元気に頑張っているかな。」など聞きたいことが出てきたら気軽に連絡を取り合い、尋ねてみましょう。子どもの新たな一面が分かることがよくあります。

顔を合わせて話をしよう

○　電話やメール、文書も手軽な方法ですが、顔を合わせて話をすると安心感も生まれ、信頼関係を育みます。短い時間でもよいので、顔を合わせて話ができるように、上手に時間をつくる工夫をしましょう。

　立場は違っても、子どもの健やかな成長を願う気持ちは同じです。

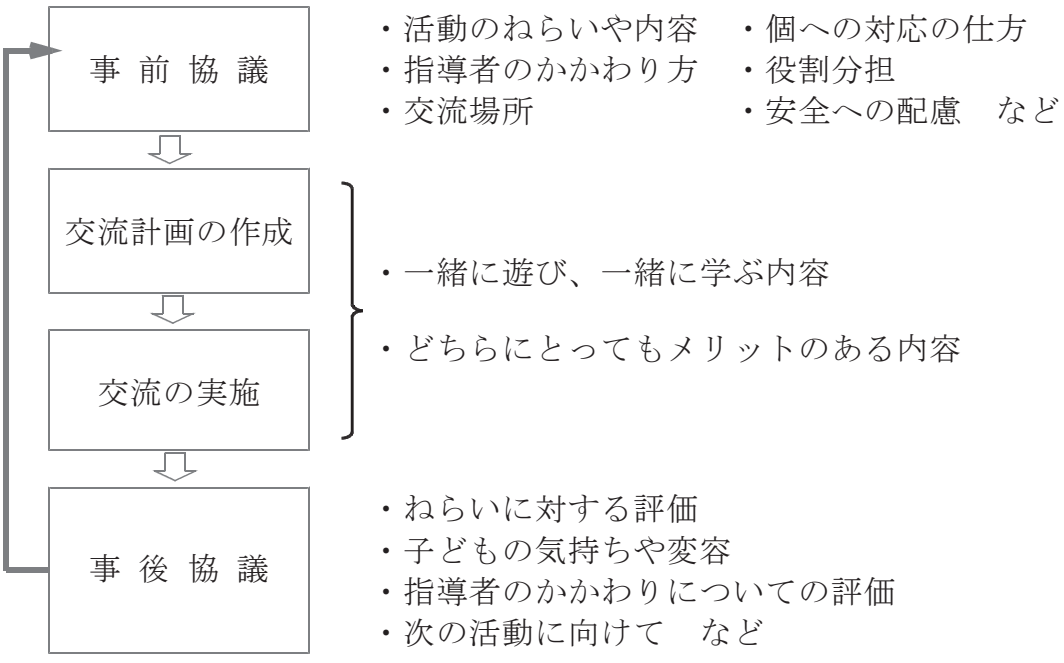
☆ 子 ど も 同 士 の 交 流 を し よ う

両者が主役になれる交流をしよう

○　まずは、無理なくできそうなことから！
　大切なことは、保育所・幼稚園の子どもにとっても、小学校の子どもたちにとっても、両者が主役になれるような遊びや活動を行うこと。
　一緒に活動することによって、互いに学び合える関係性、つまり「互恵性」のある関係をつくり出すことが大切です。相手をお客さんとして招待し、名前も知らないまま単なるイベントで終わることなく、一緒に遊び、一緒に活動し、一緒に学び、どちらにとっても夢中になれる活動ができるようにしましょう。

○　交流のねらいをはっきりもちましょう。保育所・幼稚園に合わせて活動したり、小学校のねらいの先取りをしたりしないよう留意しましょう。交流会場についても交流活動のねらいや内容で決めましょう。

子ども同士の交流の進め方



ぼくは、年長さんの時５年生の花子ちゃんとペアになったよ。それから、１年生の太郎君と何回も遊んだよ。
小学校には、よく知っている花子ちゃんや太郎君がいるから、こわくなかったよ。

花子ちゃんと太郎君がキーパーソンとなってうまく、つないでくれています。

子ども同士の交流例

給食試食会は、修学旅行や社会科見学などの実施日に行うと、園児の食器を準備しやすくなります。

＜給食試食会＞

＜年長児の小学校探検＞

＜読み語り＞

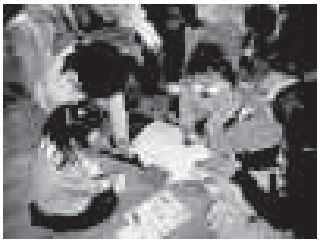
＜運動会交流＞

保育所や幼稚園で活動すると、園児の素顔が見られます。

＜園庭での遊び＞

＜入学説明会での交流＞

年間を通して活動できるペアやグループ。



＜カレンダー作り＞

＜合同野菜作り＞

保育所と幼稚園の４歳児の交流の様子です。一緒にドングリ拾いをして、それぞれ持ち帰り、後日作品を紹介し合いました。
保育所と小学校、幼稚園と小学校の連携だけでなく、保育所と幼稚園の連携も大切です。

３　「ジャンプ」 続けよう

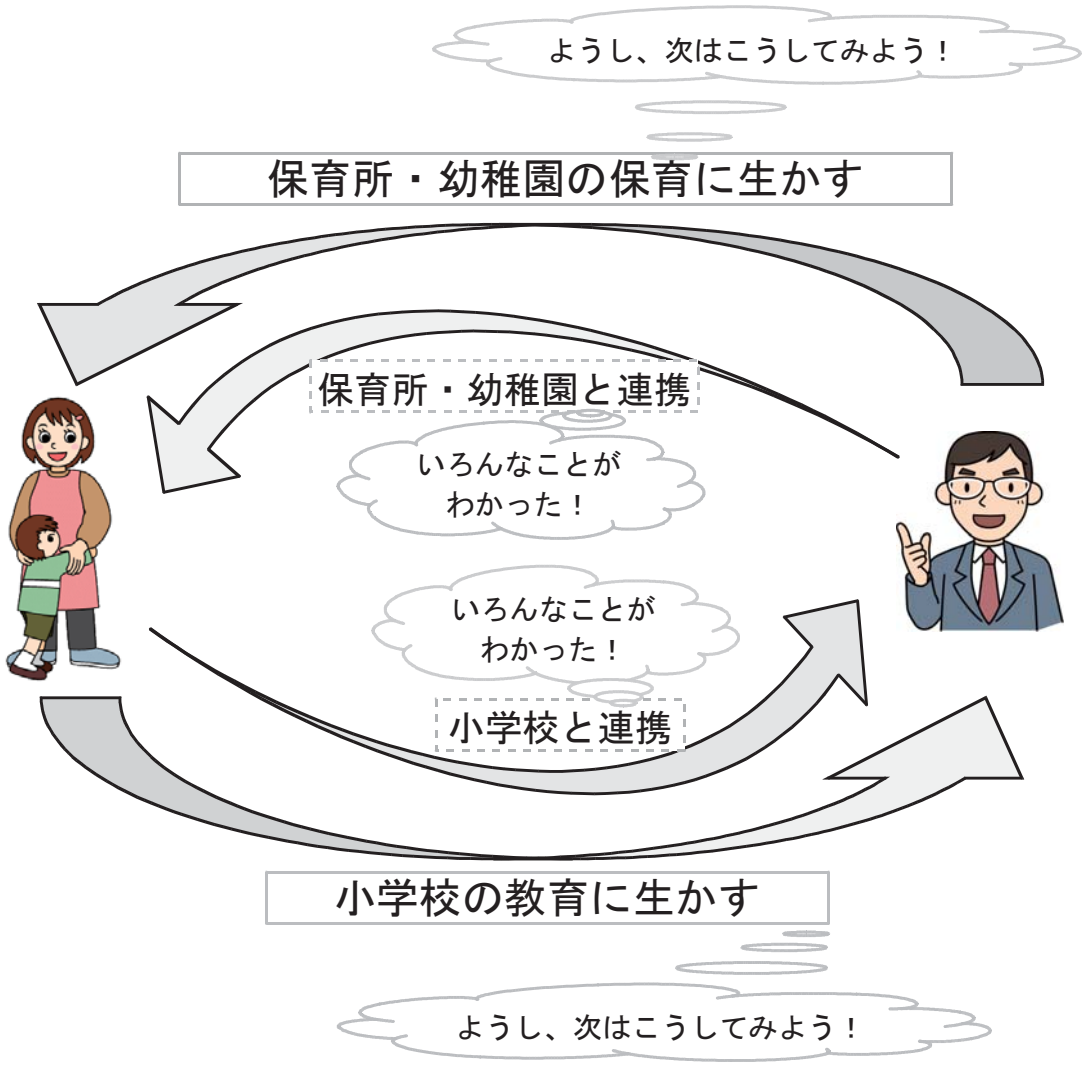
☆　取 組 を 続 け よ う

○　保育所、幼稚園と小学校の連携は、続けることに意味があります。
しかし、イベント的な交流ばかりをして時間不足になり、結局取組が続かなくなったり、転勤などで幼保小連携に熱心だった担当者が異動してしまうとなんとなく足が遠ざかってしまい、一度築きあげたせっかくのよい関係が薄れてしまったりしては、残念です。

そこで、無理なく続けられるように工夫することが大切です。
例えば
・一過性の取組にならないように、どんな点がよかったのか、課題は何かなどを振り返り、記録を残す。
・引継ぎを確実に行い、それまでの成果をつなげていく。
・保育所や幼稚園だけに、あるいは小学校だけに負担がかからないように配慮しながら、どちらにとっても「やってよかったな」と思えるような内容にする。
など、継続できるように工夫しましょう。

☆　振り返り　次に生かそう

○　保育者は小学校の職員から、小学校の職員は保育者から多くのことを学ぶことができます。それぞれの専門性に敬意をもち、専門性に触れることによって、自分のこれまでの保育・教育を振り返り、次に生かすことにつながっていきます。じっくり話をして、自分の保育・教育に生かしましょう。



何でも語り合える関係をめざして

「ホップ・ステップ・ジャンプ」の３段階を通して、保育所、幼稚園、小学校の職員同士が率直に、胸襟を開き、本音で何でも語り合える関係になるとすばらしいですね。

資　料

資料１　地域ブロック一覧表

資料２　アプローチカリキュラム・
　　スタートカリキュラムの編成

資料３　ワークシート

資料１

地域ブロック一覧表

	小学校	幼稚園	保育所
Aブロック	古賀小学校 矢上小学校 高城台小学校 高城台小学校現川分校 日見小学校 戸石小学校 橘小学校	天童幼稚園（認） 聖母の騎士東長崎幼稚園（認） 矢上幼稚園 日見幼稚園 あやめ東幼稚園	放光保育園 ひよこ保育園 教宗寺保育園 つばさ保育園 おひさま保育園 日見保育園 戸石保育園 かき道ピノキオ保育園 天童保育園（認）
Bブロック	伊良林小学校 諏訪小学校 上長崎小学校 桜町小学校 西坂小学校 高島小中学校 小島小学校 愛宕小学校	聖母の騎士幼稚園 長崎幼稚園 皓台寺幼稚園 くるみ幼稚園 諏訪幼稚園 高島幼稚園 長崎玉成幼稚園 長崎女子短期大学附属幼稚園 レデンプトール幼稚園	伊良林保育所 若宮保育園 あけのほし保育園 中央保育所 慈光保育園 友愛八幡町保育園 星座保育園 上長崎保育園 にしやま保育園 お告げの聖母保育園 しらゆり保育園 小島保育園 愛宕保育園 田上保育園 長照寺保育園
Cブロック	佐古小学校 仁田小学校 大浦小学校 日吉小中学校 茂木小学校 南小中学校	大浦信愛幼稚園 セレスタ学園茂木幼稚園	緑ヶ丘保育所 仁田保育所 大浦保育園 大浦児童園 桐ノ木保育園 たんぽぽ保育園 日吉幼児園 茂木保育園
Dブロック	戸町小学校 小ヶ倉小学校 南長崎小学校 南陽小学校 南陽小学校開成分校 土井首小学校 深堀小学校 香焼小学校 伊王島小学校	さくら幼稚園 小ヶ倉幼稚園 ダイヤランド青い鳥幼稚園 深堀純心幼稚園 深堀幼稚園 おおとり幼稚園	戸町保育園 ロザリオ保育園 こばと保育園 さくらんぼ保育園 小ヶ倉保育園 ダイヤランド保育園 菜の花保育園 森の風保育園 鶴見台保育園 唯念寺保育園 ダーナ保育園 香焼保育所 伊王島幼児園
Eブロック	野母崎小学校 蚊焼小学校 為石小学校 晴海台小学校 川原小学校	野母崎幼稚園 三和幼稚園	浄華保育園 高浜保育園 野母保育園 蚊焼保育所 為石保育所 椿が丘保育園 川原保育所

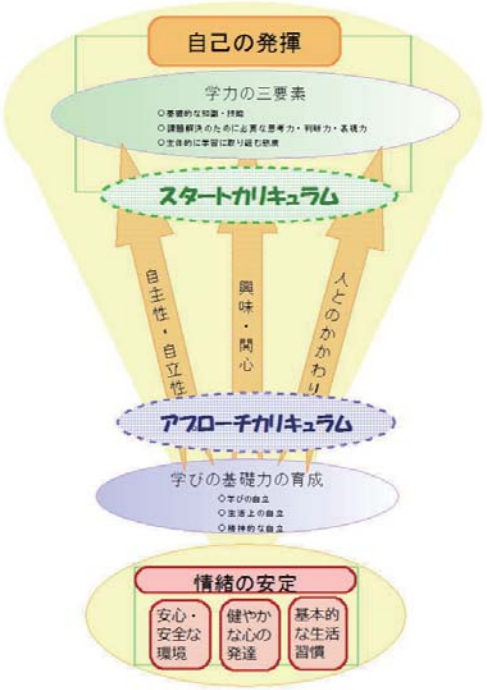
	小学校	幼稚園	保育所
Fブロック	福田小学校 小榊小学校 飽浦小学校 朝日小学校 稲佐小学校 城山小学校	くるみ西幼稚園 いなさ幼稚園 宝珠幼稚園 友愛社会館幼稚園 ひかり幼稚園	福田保育園 神ノ島愛児園 木鉢双葉園 小百合園保育所 親愛園 旭保育園 稲佐保育園 城山保育所 友愛富士見町保育園
Gブロック	西城山小学校 聖マリア学院小学校 長崎南山小学校 西町小学校 西北小学校 滑石小学校 虹が丘小学校 大園小学校 北陽小学校 横尾小学校	聖マリア幼稚園 長崎南山幼稚園 百合幼稚園 富士幼稚園（認） 大園幼稚園 滑石中央幼稚園 くるみ北幼稚園 みやま幼稚園	青山保育園 花園保育園 聖母保育園 西浦上保育園 赤迫保育園 葉山保育園 コスモス保育園（認） 滑石保育園 長崎北保育園 ピッパラ保育園 滑石センター保育園
Hブロック	式見小学校 三重小学校 畝刈小学校 手熊小学校 小江原小学校 鳴見台小学校 桜が丘小学校	長崎小鳩幼稚園（認） 第二ひかり幼稚園	式見保育園 樫山保育園 三重保育園 三京えのき保育園 畝刈保育園 小江原保育園 長崎聖マリア保育園 長崎小鳩保育園（認）
Iブロック	西浦上小学校 長崎大学教育学部附属小学校 川平小学校 女の都小学校 三原小学校 西山台小学校 長崎精道小学校 精道三川台小学校 高尾小学校 山里小学校 坂本小学校 銭座小学校	長崎大学教育学部附属幼稚園 純心幼稚園（認） 住吉幼稚園 みのりが丘幼稚園（認） 女の都幼稚園 第二女の都幼稚園 聖アントニオ幼稚園 長崎信愛幼稚園 うみのほし幼稚園 ルンビニー幼稚園	大手保育所 あゆみ保育園 住吉保育園 純心保育園（認） 女の都青い鳥保育園 みはら保育園 西山台保育園 うみのほし保育園 さくら保育園 山里平和保育園 ローザ保育園 山王保育園 もとお保育園 聖徳保育園
Jブロック	黒崎東小学校 出津小学校 神浦小学校 池島小中学校 尾戸小学校 形上小学校 長浦小学校 村松小学校	中央幼稚園	黒崎聖母保育園 出津愛児園 外海まどか保育園 尾戸保育園 形上保育園 中央保育園 琴海保育園 にしうみ保育園

資料２

［参考］アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの編成

新しい取組をすることが大事なのではなく、今、行っている保育・教育を見直すことが大切です。幼児期の教育も児童期の教育も見通す力を養い、今の教育活動をよりよいものに構成し、実践する力が保育者や職員に求められます。

接続期を捉える構造図



スタートカリキュラム

小学校が、子どもが義務教育の始まりにスムーズに適応していけるように構成した小学校でのカリキュラム

アプローチカリキュラム

保育所・幼稚園が、子どもが義務教育の始まりにスムーズに適応していけるように構成した保育所・幼稚園でのカリキュラム

※　アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム作成のポイント
① それぞれのねらいや内容、独自性を大切にしましょう。
② 保育所・幼稚園・小学校が協力してつくりましょう。
③ 一人一人の子どもに対応した取組になるようにしましょう。
④ 学校・園全体での取組になるようにしましょう。
⑤ 保護者にも適切な説明を行いましょう。

小江原地区幼保小連携推進協議会作成
（市内２保育園、２幼稚園、２小学校）
平成２４年９月作成

アプローチカリキュラム　スタートカリキュラム

	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月
ね　ら　い	学びの基礎力の育成 →								学力の三要素の育成		
【光】豊富な経験・体験 接続期に大切にしたい経験・体験 自主性 自立性	○ 自分の力で、目標に向けて取組み、達成感・満足感をもつ体験。			○ 自分のことは自分で行い、自分でできないことは助けを借りて自分で行う。				○ 生活の流れを予測して、周りの状況を予測して生活する体験。			
興味・関心	○ 楽しい活動に夢中になり、没頭する体験。 ○ 楽しさやあこがれから、やってみたいことのイメージ、達成のイメージをもち、今の活動を工夫しながら目指す。 ○ 身の回りの人・もの・ことに対して遊びを通して感覚的に知る。							○ 時間が来たら、気持ちを切り替え集中する。 ○ 課題を自分に引き寄せ取り組む。 ○ 目当てをもって追求し、その実現に手応えと喜びを感じる。 ○ いろいろな思いを言葉にして考え、発言する。			
人とのかかわり	○ 感じたことや気づいたことを言葉にして伝え合う。 ○ 身近ないろいろな人とかかわり、思いや考えを感じながら自分の思いの出し方を考える。					○ クラスみんなで、共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向かう。 ○ 家族や友達など関係の深い人の中で、自分が役に立つ喜びを感じる。					
カリキュラム作成のポイント	「学びの芽生え」 →								「自覚的な学び」へ		
	○ 協同的な遊びや体験を大切にする ○ これまで学んだことを総合化し、課題解決をする活動の充実					自己の発揮			○ 生活の中の興味・関心を生かした学び（子どもの願い・考えを生かす） ○ 直接的・具体的に対象とかかわる学び ○ 合科的・関連的な学習・弾力的な時間の運用		
	○ これまでの成長を実感し、小学校就学への期待を育む活動の充実					情緒の安定			○ 新しい人間関係を築くことができる学校生活の工夫 ○ 安心して学校生活に適応できる工夫 ○ 自分を支えてくれる仲間（上級生や教師）がいることを知らせる工夫		
主　な　活　動	運動会　敬老会　遠足　七五三のお祝い もちつき　いも掘り　マラソン　発表会　誕生会				節分　作品展　誕生会　卒園式				入学式　歓迎集会・遠足　給食開始 学校探検　各教科指導開始　運動会　水泳指導		
【土】環境の設定 【水】適切な支援	○ 個々の子どもが互いに認め合えるような雰囲気をつくり、自信をもつことができるようにする。 ○ 目標に向かって友達と力を合わせて取り組み、やり遂げる大切さや楽しさを理解できるようにする。 ○ 自分の考えや意見を発表し、認められる喜びを味わうとともに、相手の意見を受け入れることができるようにする。				○ 感じたこと、想像したことを、言葉や体、音楽、造形など様々な方法で楽しめるようにする。 ○ 一人一人が成長したことを認め、満足感や達成感を味わうことができるようにする。 ○ 園生活を振り返り、様々な人に感謝の気持ちをもてる場をつくる。 ○ 小学生との交流会等を通して、就学への期待をもつことができるようにする。				○ 入学した喜びを一人一人が感じ、期待や目標をもって学校生活を送ることができるようにする。 ○ 短縮日課実施により、小学校生活へスムーズな順応を図る。 ○ 環境の変化に合わせた指導を丁寧に行う。 ・基本的生活習慣（用具整理、着替え、トイレ等） ・学校のきまり（返事やあいさつ、施設の使い方、登下校や廊下歩行、着替えの仕方、給食等） ・基本的な学習の仕方（学習中の姿勢、話の聞き方、いすの座り方や鉛筆の持ち方等） ○ ６年生との交流活動（学校案内や共遊、給食・掃除時間の補助等）を通して自分が大切にされているという喜びを感じ、安心感をもたせる。 ○ 給食、掃除などの当番活動や係活動など、自分の仕事に責任をもって取り組むことができるように支援する。 ○ できたことを大いに認め、意欲と目標をもって学校生活が送れるよう支援する。		
保幼小交流活動 教職員同士の交流	保育所・幼稚園運動会（小→保幼）				保育所・幼稚園参観（小→保幼） 卒園式参加（小→保幼） 就学前、保幼小情報交換会（指導要録送付）				入学式参加（保幼→小）　運動会参観（保幼→小） 教育週間授業参観（保幼→小）　入学後の情報交換会 懇親会　小江原地区幼保小連携推進協議会教職員合同研修会		
子ども同士の交流	給食交流会・小学校探検（５年生） 生活科交流会（１・２年生）				交流会（５年生）　授業参観（１年生） 保育園、幼稚園5歳児の交流				幼児の授業参観・学校見学		
家庭との連携	○ 園だより、保護者会での情報発信 ・園生活のねらい、活動の様子を知らせる。 ・生活習慣の確立など、就学に関して必要な力の育成の啓発 ○ 個人面談、連絡帳による個人の様子を知らせる　・子どもの成長と就学を保護者と教職員が喜ぶ。 ○ 必要に応じて連絡票を活用し、小学校での面談								○ 育友会への入会 ○ 学校・学年・学級だよりでの情報発信 ・学校生活のねらいや活動の様子を知らせる ・生活習慣の確立など、学校生活に必要な力の育成の啓発 ○ 連絡帳等による情報交換 ○ 家庭訪問、個人面談などを通して、個人の様子を知らせる。		

資料３

ワークシート

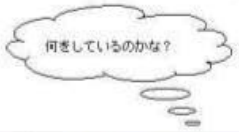
資料３は、保育所・幼稚園・小学校の先生方にお使いいただくワークシートを掲載しています。先生方が見学、話合いをするときや、子どもの育ちや学びについて考える際のメモとして、お使いいただければ幸いです。

拡大コピーしてお使いください。

ワークシート番号	利　用　の　仕　方
ワークシート１	保育所・幼稚園・小学校に見学に出かけたときご利用ください。見たり聞いたりしたこと、思ったこと・感じたことをメモするだけでなく、是非、相手の先生とお話をし、その内容や感想を記録しておきましょう。回を重ねるごとに、このワークシートをとりためておくと、保育者として、教師としての成長の足跡となっていくことでしょう。
ワークシート２	小学校への入学を控えた年長児の子どもたちへの保育を考えるために、ご利用ください。年長児が入学に関し、どのようなことに期待し、どのような不安を抱えているかを感じてみましょう。その思いに応じて、どのような経験をさせたらよいのか、環境の設定はどうしたらよいか、またどのような支援をしたらよいのか、小学校の先生方も交えて、話し合ってみましょう。
ワークシート３	小学校１年生の子どもたちの教育を考えるために、ご利用ください。 ワークシート３－①では、「食べる」ことに関して、子どもがどのような感情を抱いているのか感じてみましょう。困っていることがあるようでしたら、その子が「食べる」ことに関して、どのような環境で、どのような育ちをしてきたのか、保育者に尋ねてみましょう。それと比較した小学校の環境を見つめ、手立てを考えてみましょう。学級全体の傾向だけでなく、個に応じた支援についても考えてみましょう。 同様に３－②は、「勉強」に関して、３－③は「人」に関して、３－④は「学校の環境」に関してのワークシートです。 子どもに安心感をもたせるための手立て、また、できるだけなくしたい段差と、積極的に生かしたい段差についても話し合ってみましょう。

ワークシート1　見学をしよう

見学日　平成　　年　　月　　日(　)
見学場所(　　)
学年・年齢(　　)



時間	見学したこと	思ったこと・感じたこと	聞いたこと	今日の感想

話合ってみよう

ワークシート2　年長クラスの子どもたちにきいてみよう

インタビューした日：平成　　年　　月　　日(　)
場　　所　：(　　)

年長クラスの子どもたちにインタビューしてみましょう。
「小学校入学、何が楽しみかな？」
「小学校入学、何か心配なことあるかな？」

	楽しみ・期待	不安・心配
人		
もの		
こと		

話合ってみよう

保育所・幼稚園・小学校ではどのような経験をさせたらいいか、どのような環境の設定をしたらいいか、どのような支援をしたらよいでしょう。

ポイント
保・幼・小の先生がばらばらに考えるのではなく、一緒に考えてみましょう。

【光】豊富な経験	【土】環境の設定	【水】適切な支援

ワークシート3　1年生の「困ったなあ」をなくすために・・・

① 食べる

(　　)さんがどう思っているか、感じてみましょう。

小学校での環境は？

保育園・幼稚園での経験・環境・支援は？

できるだけなくしたい段差は？

積極的に　生かしたい段差は？

こんな工夫をしてみよう！

ワークシート3　1年生の「困ったなあ」をなくすために・・・

② 勉強

(　　)さんがどう思っているか、感じてみましょう。

保育園・幼稚園での経験・環境・支援は？

小学校での環境は？

できるだけなくしたい
段差は？

積極的に　生かしたい
段差は？

こんな工夫をしてみよう！

ワークシート3　1年生の「困ったなあ」をなくすために・・・

③ 人

（　　）さんがどう思っているか、感じてみましょう。

小学校での環境は？

保育園・幼稚園での経験・環境・支援は？

できるだけなくしたい段差は？

積極的に　生かしたい段差は？

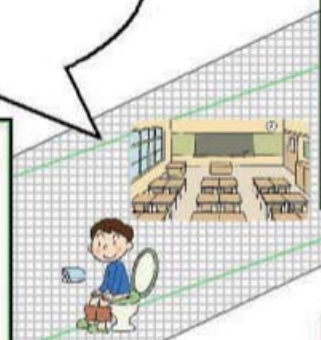
こんな工夫をしてみよう！

ワークシート3　1年生の「困ったなあ」をなくすために・・・

④　学校の環境

(　　)さんがどう思っているか、感じてみましょう。

保育園・幼稚園での経験・環境・支援は？



小学校での環境は？

できるだけなくしたい段差は？

積極的に　生かしたい段差は？

こんな工夫をしてみよう！

作成協力保育所・幼稚園・小学校

作成協力保育所	琴海保育園
	小江原保育園
	中央保育園
	長崎市立仁田保育所
	長崎聖マリア保育園
	にしうみ保育園
	福田保育園
	放光保育園
作成協力幼稚園	小江原ひかり幼稚園
	第二ひかり幼稚園
	天童幼稚園
	長崎市立長崎幼稚園
	長崎大学教育学部附属幼稚園
作成協力小学校	聖マリア学院小学校
	長崎市立伊良林小学校
	長崎市立小江原小学校
	長崎市立古賀小学校
	長崎市立桜が丘小学校
	長崎市立戸石小学校
	長崎市立西浦上小学校
	長崎市立北陽小学校
	長崎市立村松小学校

（順不同）

おわりに

幼児期に豊かで質の高い教育を行うことが求められていることは、つとに知られています。また、幼保小の連携・接続は、平成２０年改定の保育所保育指針、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領にも謳われ、その必要性については既に知られているとおりです。

このたび､長崎市では市内の保育所・幼稚園から小学校への移行をできるだけなめらかにし、子どもたちの健やかな成長に少しでも役立てたいと幼保小連携検討懇話会で協議を重ね、お届けするような手引きを作成する運びとなりました。

本手引きの作成に際しては、あの８月の炎暑の中を作業部会の方々が、流れる汗をものともせず数日間を捧げ、さらにその後も数か月間にわたって編集をしてくださいました。また、ご覧頂いてお分かりのように、小学校入学に際しての子どもの声から、保育所・幼稚園・小学校の指導案やカリキュラムにいたるまで、すべてこれらは、長崎市内の子どもの声であり、長崎市で現在実施されているカリキュラムです。本書は「子どもの生の声」や「先生方の自前の指導案」等々で構成されており、国・公・私の隔てなく各学校、各機関の方々が創意と工夫を積み重ね、力を結集した証となっています。

さあ､「やってみゅーで！」

本書が、幼保小の連携に取り組もうとするとき、大いに活用されんことを切に切に願ってペンを擱きます。

最後になりましたが、本書作成に当たりまして、資料提供等御協力いただきました保育所・幼稚園・小学校の皆様には深甚の感謝を申し上げます。また、アンケート調査への御協力にも心からのお礼を申し上げます。

平成25年4月

長崎市幼保小連携検討懇話会

進野　智子

作成編集委員

委員長	進野　智子	長崎大学名誉教授
委　員	前田　志津子	活水女子大学健康生活学部講師
	柴田　淳	長崎市ＰＴＡ連合会副会長
	松田　七重	第二ひかり幼稚園長
	松尾　正一郎	かき道ピノキオ保育園理事長
	野本　美和子	長崎市立長崎幼稚園長
	小森　八重子	長崎市立中央保育所長
	本多　留男	長崎市立西浦上小学校長
	入江　良一	長崎市立稲佐小学校長
	岩永　眞智子	市民代表
作業部員	本村　尚子	福田保育園保育士
	保坂　清子	長崎市立仁田保育所保育士
	大谷　寛子	第二ひかり幼稚園副園長
	宮地　哲史	長崎大学教育学部附属幼稚園教諭
	河野　朋子	長崎市立長崎幼稚園教諭
	田中　芳	聖マリア学院小学校教諭
	林　寛	長崎市立村松小学校教頭
	木村　栄	長崎市立西浦上小学校教諭
	横田　明子	長崎市立北陽小学校教諭
	吉野　政則	長崎市立戸石小学校教諭
長崎市教育委員会事務局	松本　健吾	学校教育課長
	酒井　友文	学校教育課教育指導係長
	中坪　清美	学校教育課教育指導係指導主事

長崎市幼保小連携ガイドブック
「やってみゅ～で」

【発　行　年　月】　平成25年4月

【編　集　発　行】　長崎市教育委員会　学校教育部　学校教育課
〒850-8685　長崎市桜町2番22号
TEL095-829-1195